

高松市美術館
年報

令和 6 (2024) 年度

凡例

・新収蔵作品のデータは、原則として以下の通りに記した。

作家名

作品名

制作年

技法・材質

寸法(平面=縦×横/立体=高さ×幅×奥行き、直径×高さの順)

収集区分(購入、寄贈)

・特別展作品リストは、展覧会中に配布した目録・マップ等を再編集して掲載した。

日本の巨大ロボット群像 – 巨大ロボットアニメ、そのデザインと映像表現 –

Giant Robots The Core of Japanese Mecha Anime

初の巨大ロボットアニメ「鉄人28号」放映から60年。
架空のロボットが登場するアニメーション（ロボットアニメ）は、いまや日本の大衆文化の一角を占めています。横浜に登場した「動くガンダム」を始めとする架空の「実物大」ロボットが日本の主要都市に存在し、それらは今や日常的な風景となっているほどです。

『鉄人28号』（1963年）をロボットアニメの嚆矢として、その後『マジンガーZ』（1972年）の大ヒット、そしてロボットアニメの流れに新風を吹き込んだ『機動戦士ガンダム』（1979年）の影響下、現在に至るまで多数のロボットアニメが制作され、魅力的なロボットがデザインされてきました。他の国のアニメーションには見られない、独自の進化と広がりを見せてきたそのデザインの変遷には、空想上の荒唐無稽なロボットという存在に映像的な「リアリティ」を与えるためのデザイン上、設定上の創意工夫が凝らされ、ファンを魅了してきました。

本展では、「鉄人28号」から近年のロボットアニメにおけるロボットのデザインと映像表現の歴史を、それらの「リアリティ」形成において重要な役割を果たした設定上の「メカニズム」と「大きさ」を軸に検証しました。

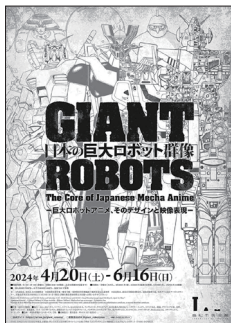
Sixty years have passed since the first giant robot animation, “Tetsujin28”, was broadcast. Animations featuring fiction robots (mecha anime) are now part of Japanese popular culture. Fictional ‘life-size’ robots, such as the ‘moving Gundam’ that appeared in Yokohama, exist in major Japanese cities and are now part of the everyday landscape.

From the pioneering robot animation of “Tetsujin28” (1963), followed by the huge success of “Mazinger Z” (1972), and under the influence of “Mobile Suit Gundam” (1979), which breathed new life into the robot animation trend, numerous mecha anime series have been produced and fascinating robots have been designed up to the present day.

The evolution and expansion of these unique designs, which cannot be seen in animation from other countries, has fascinated fans with the ingenuity of the design and settings used to give visual ‘reality’ to the absurd robot of fantasy.

This exhibition examined the history of robot design and visual expression in mecha anime from “Tetsujin28” to recent years, with focus on the ‘mechanism’ and ‘size’ of the settings that played an important role in creating ‘reality’.

- ◆会期 2024年4月20日(土)～6月16日(日) 50日間
- ◆休館日 月曜日(4月29日[月・祝]、5月6日[月・振休]開館)、4月30日(火)、5月7日(火)
- ◆主催 高松市美術館
- ◆協力 AIC、AICライツ、エイケン、エディット、KADOKAWA、キングレコード、クロスメディア、KOBE鉄人PROJECT、シグナル・エムディ、スタジオぬえ、創通、ダイナミック企画、東映、東映アニメーション、東北新社、トムス・エンタテインメント、博報堂DYミュージック&ピクチャーズ、パンダイナムコフィルムワークス、光プロダクション、ピックウエスト、フライングドッグ、Production I.G、メディアウェイブ、ライツ・イン
- ◆企画 西日本新聞イベントサービス、ぴあ
- ◆企画協力 廣田恵介、タルカス(五十嵐浩司)
- ◆入場料 一般 1,200円、大学生 600円、高校生以下無料
- ◆入場者数 12,819人
- ◆担当学芸員 牧野裕二



(チラシ表)



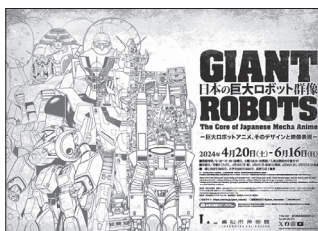
(チラシ裏)



(図録)



(B2ポスター)



(B3ポスター)



記念対談



エントランス・ミニコンサート



来場者1万人記念セレモニー



巨大ロボットジオラマ展示



特別企画
『電磁車輛コトディーンの世界』



対談①「～電磁車輛誕生～コトディーン
製作秘話を語る」



◆講演会

記念対談「80年代ロボットアニメの隆盛とガンダムの展開」
日時：4月20日(土) 13:30～15:00
出演：五十嵐浩司(アニメーション研究家、本展ゲストキュレーター)、
山口洋三(本展監修者)
場所：1階講堂
参加者数：95人

◆イベント

巨大ロボットジオラマ展示
美術館で展示される「巨大ロボット」のオリジナルジオラマ作品を募集し、
展示した。
募集作品内容：「巨大ロボット」を題材とするジオラマ作品(サイズ：高さ
35×縦35×横35cm以内)
募集期間：2024年3月1日(金)～3月28日(木)
展示期間：会期中
対象：どなたでも参加可能
応募者数：11人(1人1点のみ)

エントランス・ミニコンサート「高らかに歌え！巨大ロボット賛歌」(p.36)
ふらっとアート「進め！ダンボールロボット」(p.35)

◆関連展示

特別企画『電磁車輛コトディーン』の世界

高松琴平電気鉄道「ことでん」を題材に、SF劇画で香川郷土史を探究する
「電磁車輛コトディーン」。ご当地SFとして2019年からユニークな展開を
続ける同作品の軌跡を、原画、グッズ、その他資料により辿った。

4月20日(土)～6月16日(日)
中2階展示ロビー、プランチギャラリー等
観覧無料

対談①「～電磁車輛誕生～コトディーン製作秘話を語る」
日時：4月21日(日) 13:30～15:00
出演：野口二郎(野口会館主宰)、野口哲哉(美術家)
場所：1階講堂
参加者数：61人

対談②「～コトディーンの世界～ 仮想現実ストーリーと郷土史」
日時：5月25日(土) 13:30～15:00
出演：野口二郎(野口会館主宰)、真鍋康正(高松琴平電気鉄道(株)
代表取締役)
場所：1階講堂
参加者数：77人

◆主な新聞・雑誌等関連記事

四国新聞／4月25日、5月16日「巨大ロボアニメ歴史たどる」、
5月23日、5月25日、6月5日、6月6日、6月8日「来場者1万人突
破」、6月13日
読売新聞／5月19日「巨大ロボ心躍る再会」
朝日新聞／5月27日「合体！変形！巨大ロボのロマンたどる」
美術展びあ2024
調査月報／4月号、5月号
広報高松／5月号
アートコレクターズ／5月号
美術の窓／5月号
co・opステーション／5月号
ナスタウン／5月号
フリーペーパーリビングひろしま／5月17日号
博物館研究／6月号
芸術新潮／6月号

◆図録

『日本の巨大ロボット群像』図録
編集：タルカス
構成・執筆：五十嵐浩司
執筆：山口洋三、廣田恵介、谷崎あきら、島田康治、池田元氣、
井上雄史、赤尾将義、加納遵
写真：加藤文哉、泉山朗士(ボクスグラフ)
表紙装丁：植松久典
デザイン：坂入勝
制作：阿部慎一郎、飯塚岬
発行：びあ株式会社中部支店、びあ株式会社本社
印刷・製本：光村印刷
発行日：2023年9月9日
仕様：25.7×18.2cm、208頁

『電磁車輛コトディーンの世界』図録

編集・製作：野口会館
デザイン：野口二郎
発行：野口会館
発行日：2024年4月7日
仕様：25.6×18.1cm、72頁

◆ポスター・チラシ

デザイン：植松久典

◆作品リスト(pp.11-14)

谷川俊太郎 絵本★百貨展

Shuntaro Tanikawa: EHon Hyakka-ten

詩人の谷川俊太郎（1931－）は1960年代から現在まで、さまざまな絵描きや写真家と200冊にも及ぶ絵本を作ってきました。ことばあそび、世界のありようを認識する手がかかり、ナンセンスの楽しみ。そして生きることの面白さや大変さ、尊さ、死や戦争までをテーマに、今日も絵と言葉による表現に挑んでいます。

バラエティ豊かな絵本に共通するのは、読み手に対する谷川俊太郎の希望の眼差しです。展覧会は約20冊の絵本を取り上げ、多彩なクリエイターとともに、絵本の原画、絵や言葉が動き出す映像、朗読や音、巨大な絵巻や書き下ろしのインスタレーション作品などを展示しました。絵本の世界から飛び出した、子どもから大人まで誰もが楽しめるおもしろい内容で構成しました。

（谷川俊太郎氏は2024年11月13日に逝去されました。）

From the 1960s to the present, poet Shuntaro Tanikawa (1931-) has created over 200 ehon (picture books) in collaboration with various artists and photographers. Tanikawa's challenge to express his thoughts through images and words continues to this day, covering a wide range of themes, from wordplay, clues to recognizing the state of the world, the joy of nonsense, the fun, hardness, and nobleness of life, and even death and war.

The common attribute in these richly varied picture books is Tanikawa's hopeful gaze toward his readers. This exhibition presented about twenty of his picture books and introduces them in collaboration with various creators, utilizing original paintings of the picture books, video works with moving images and words, recitations, sound effects, giant picture scrolls, and newly created installation works. It was composed as an entertaining exhibition that has sprung out from the world of picture books and can be enjoyed by all ages.

(Mr. Shuntaro Tanikawa was passed away on November 13 in 2024.)

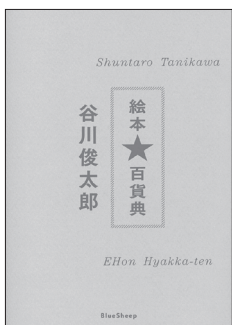
- ◆会期 2024年7月20日(土)～9月16日(月・祝) 51日間
- ◆休館日 月曜日(8月12日[月・振休]、9月16日[月・祝]開館)、8月13日(火)
- ◆主催 高松市美術館
- ◆キュレーション 林 綾野
- ◆アートディレクション 有山達也
- ◆空間構成 手塚貴晴
- ◆参加クリエイター 新井風倫、岡本香音、柿木原政広、神田京子(講師)、坂井治、田附勝、張替那麻、minna
- ◆企画協力 ブルーシープ株式会社
- ◆入場料 一般 1,200円、大学生 600円、高校生以下無料
- ◆入場者数 15,619人
- ◆担当学芸員 高見翔子



(チラシ表)



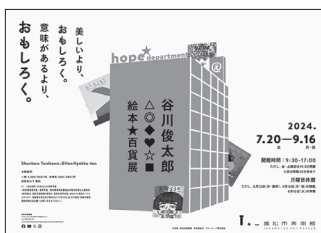
(チラシ裏)



(図録)



(B2ポスター)



(B3ポスター)



記念講演会



記念コンサート



ワークショップ



手話による絵本★読み聞かせ会



絵本★読み聞かせ会



来場者1万人記念セレモニー

◆講演会

記念講演会「谷川俊太郎の絵本の世界」
 日時：7月20日(土) 13:30～15:00
 講師：林綾野(本展キュレーター)
 場所：1階講堂
 参加者数：92人

◆イベント

記念コンサート「たにけん sings しゅんたろ ～かわいい歌からおもしろこ
 わい歌、そして泣ける歌まで～」(p.36)
 ワークショップ「賢作マジックゴーゴー ～みんなと一緒に歌作ろ～」
 (p.34)
 手話による絵本★読み聞かせ会(p.36)
 絵本★読み聞かせ会(p.36)
 エントランス・ミニコンサート「動物たちのカーニバル」(p.36)
 ふらっとアート「すきなことばとかたちでえほん★をつくらう」(p.35)

◆ギャラリートーク

日時：7月27日(土) 14:00～
 講師：高見翔子(当館学芸員)
 場所：2階展示室
 料金：無料(観覧券要)
 参加者数：36人

日時：会期中の日曜日・祝日(7月21日、8月4日、8月11日を除く8回)
 14:00～

講師：美術館ボランティアcivi(シヴィ)
 場所：2階展示室
 料金：無料(観覧券要)
 参加者数：延べ151人

◆関連展示

特別展「谷川俊太郎 絵本★百貨展」関連展示(ブランチギャラリー) (p.42)

◆主な新聞・雑誌等関連記事

月刊MOE / 3月号
 芸術新潮 / 7月号、8月号、9月号
 博物館研究 / 7月号、8月号、9月号
 調査月報 / 7月号、8月号
 愛媛こまち / 8月号
 ナイスタウン / 8月号
 美術の窓 / 8月号、9月号
 広報高松 / 8月号
 天然生活 / 10月号

◆図録

『谷川俊太郎 絵本★百貨展』図録
 構成・インタビュー：刈谷政則
 編集：永岡綾
 コラム執筆：林綾野(アートキッチン)
 編集補佐：佐藤万記、森本美乃里(ブルーシープ)
 ブックデザイン：有山達也、山本祐衣、
 中本ちはる(アリヤマデザインストア)
 撮影：坂上俊彦
 印刷・製本：シナノパブリッシングプレス
 発行人：草刈大介
 発行：ブルーシープ株式会社
 発行日：2023年4月12日
 仕様：25.6×18.5cm、560頁

◆ポスター・チラシ

デザイン：有山達也(アリヤマデザインストア)

五大浮世絵師展－歌麿 写楽 北斎 広重 国芳

5 Stars of Ukiyo-e Artists

女性を優麗に描いた喜多川歌麿、劇的な役者絵で人気を博した東洲斎写楽、風景・花鳥・人物と森羅万象を独自に表現した葛飾北斎、名所絵を中心に浮世絵に新風を吹き込んだ歌川広重、そのユーモラスな画風で大いに存在感を発揮した歌川国芳。美人画、役者絵、風景画など各分野で人気を博した五大浮世絵師の代表作を中心に約140点を紹介し、江戸時代を彩った浮世絵五大スターの競演をお楽しみいただきました。

また高松会場の特別展示として、高松市歴史資料館所蔵の歌川国芳作品を展示。大波にあおられる船をダイナミックに描いた三枚続の《大物浦平家亡霊図》など4点を追加出品いたしました。

Kitagawa Utamaro, who painted graceful women; Toshusai Sharaku, who became popular for his dramatic portrayals of actors; Katsushika Hokusai, who uniquely expressed landscapes, flowers and birds, people, and everything under the sun; Utagawa Hiroshige, who breathed new life into Ukiyo-e with a focus on illustrations of famous places; Utagawa Kuniyoshi, who greatly made his presence known with his humorous style of painting. Focusing on the masterpieces of these five great Ukiyo-e artists who gained popularity in a variety of genres, such as portraits of beautiful women, actors, and landscapes, approximately 140 pieces were introduced.

In addition, as a special exhibit at the Takamatsu venue, works by Kuniyoshi from the Takamatsu City Museum of History's collection will also be on display. Four additional pieces were exhibited, including the triptych "The Ghosts of Taira Warriors Attacking Yoshitsune's Ship in Daimotsu Bay", which dynamically depicts a ship being tossed about by huge waves.

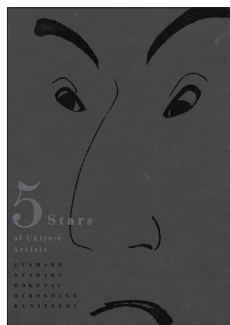
- ◆会期 2024年10月12日(土)～12月8日(日) 50日間
- ◆休館日 月曜日(10月14日[月・祝]、11月4日[月・振休]開館)、10月15日(火)、11月5日(火)
- ◆主催 高松市美術館
- ◆共催 四国新聞社
- ◆企画 神戸新聞社
- ◆入場料 一般 1,200円、大学生 600円、高校生以下無料
- ◆入場者数 18,952人
- ◆担当学芸員 石田智子



(チラシ表)



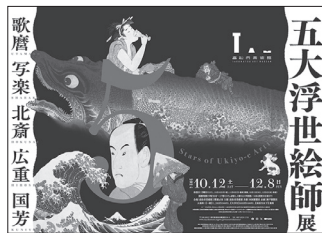
(チラシ裏)



(図録)



(B2ポスター)



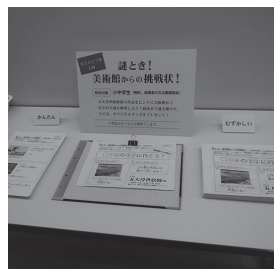
(B3ポスター)



記念講演会



記念対談



謎とき! 美術館からの挑戦状!



出張美術館



学芸員ギャラリートーク



◆講演会

記念講演会「巨匠たちの競演ー浮世絵は知れば知るほど面白い!ー」
 日時: 10月12日(土) 13:30~15:00
 講師: 山本野理子(川崎浮世絵ギャラリー 学芸員)
 場所: 1階講堂
 参加者数: 366(206)人
 ※参加者数()は、参加者数のうち、ライブ配信視聴者数

記念対談「江戸絵画入門編」
 日時: 11月2日(土) 14:00~15:00
 講師: 次田吉治(前当館館長)、石田智子(当館学芸員)
 場所: 1階講堂
 参加者数: 60人

◆イベント

エントランス・ミニコンサート「浮世絵に魅せられた作曲家たち
 Les compositeurs fascinés par les estampes ukiyo-e」(p.37)
 ふらっとアート「窓から見える春夏秋冬をえがこう」(p.35)
 謎とき!美術館からの挑戦状! (p.37)
 五大浮世絵師展 SNS特典 (p.37)
 出張美術館「江戸の浮世絵入門編」(p.37)

◆ギャラリートーク

日時: 10月13日(日) 14:00~
 講師: 石田智子(当館学芸員)
 場所: 2階展示室
 料金: 無料(観覧券要)
 参加者数: 70人

日時: 会期中の日曜日・祝日(10月13日を除く9回) 14:00~
 講師: 美術館ボランティアcivi(シヴィ)
 場所: 2階展示室
 料金: 無料(観覧券要)
 参加者数: 延べ342人

◆主な新聞・雑誌等関連記事

四国新聞/9月15日「あすから前売り券発売」
 四国新聞/10月7日「歌麿ら5人の作品結集 12日から高松市美」
 四国新聞/10月9日「高松市美の「お出かけ美術館」小学校で浮世絵解説 美術通じ多くの学びを」
 四国新聞/10月10日、10月11日、10月30日、11月28日、12月5日
 四国新聞/10月19日「江戸の「美」堪能 五大浮世絵師展始まる 高松市美術館 歌麿、写楽らの140点」
 四国新聞/11月3日「一日一言」
 四国新聞/11月7日「列品解説④東洲斎写楽「二世嵐龍蔵の金貨石部金吉」」
 四国新聞/11月14日「列品解説⑤葛飾北斎「富嶽三十六景 東海道金谷ノ不二」」
 四国新聞/11月21日「列品解説⑥歌川国芳「讃岐院眷属をして為朝をすくふ図」」
 美術の窓/10月号、11月号、12月号
 博物館研究/10月号、11月号、12月号
 調査月報/10月号、11月号
 芸術新潮/10月号、11月号
 アートコレクターズ/11月号
 版画芸術2024冬

◆図録

『五大浮世絵師展ー歌麿・写楽・北斎・広重・国芳ー』図録
 執筆: 中右瑛(国際浮世絵学会常任理事)、加藤陽介(練馬区立美術館 館首席学芸員)、中澤麻衣(中山道広重美術館学芸員)、山本野理子(日本風俗史学会理事)
 デザイン: 竹田麻衣子(Lim)
 印刷: 野崎印刷紙業株式会社
 編集・発行: 神戸新聞社
 発行日: 2022年
 仕様: 27×22.8cm、212頁

◆ポスター・チラシ

デザイン: デジタルモリス

◆作品リスト(pp.15-18)

高松コンテンポラリーアート・アニュアル vol.12 わたしのりんかく

Takamatsu Contemporary Art Annual vol.12

独自性のある優れた作家を紹介する「高松コンテンポラリーアート・アニュアル」。今回は「わたしのりんかく」をテーマに6名(4名+1ユニット)の作家を紹介した。

私をなぞる輪郭は私と他を隔てるものにもなりえますが、それはどこに、どのような形であるのでしょうか。役どころや肩書によって自分を表すことは比較的容易であり、それは明確に引かれた太い輪郭線に感じられるかもしれません。しかし、それらは環境によって変化し、逆転することもしばしばです。身体に目を向けても、どこまでが私と言えるのか、輪郭がいかに曖昧であるかに気づきます。

熱したガラスに息を吹き込んだり、身体を大きく使って練ったりすることでダイナミックな作品を生み出す横山翔平(1985年岡山県生まれ)の作品は、彼の思考や身体を映し出しており、生命を内包しているような印象を与えます。弧線を重ねた絵画を展開する國久真有(1983年大阪府生まれ)が描く線は、彼女の動きの軌跡です。たびたび画面の中央に現れる空白は身体的な限界を示すとともに、人が侵すことのできない領域のようでもあります。日常で生じる感情から作品を立ち上げる矢野恵利子(1987年香川県生まれ)は、作品にあそびの要素を含ませることで、さまざまな感情をユーモラスに可視化します。身体に絵具を垂らすことで、自分が「今ここにいる」感覚を確認するという新宅加奈子(1994年大分県生まれ)は、絵具が肌の上で刻々と変化する間、それを感じ取る自身の存在を認めているのでしょうか。自然や動物など他者と向き合う山下麻衣+小林直人(1976年千葉県生まれ、1974年千葉県生まれ)が行う行為は一見無意味にも思えますが、繰り返し継続される行為を目撃するうちに、自分と世界との関係がわずかに変化する気配を感じさせます。

刹那にとらえる輪郭は儚いものですが、それゆえの美しさや力強さを見出すこともできるでしょう。

This year's edition of the Takamatsu Contemporary Art Annual showcasing highly original, outstanding art practitioners presented work by six artists (four individuals plus one unit), on the theme of "the contour of me."

The contour that traces me may separate me from the other/others, but where is that contour, and what form does it take? Expressing oneself in terms of roles or titles is comparatively easy, and may give the feel of bold contour lines. Yet these lines often change, or even reverse, according to the environment. Even turning our gaze to the body, we note the ambiguity of its outline: how far do I actually extend?

The works of YOKOYAMA Shohei (born 1985, Okayama), who produces dynamic pieces by blowing into or using generous bodily movements to work molten glass, reflect his personal thoughts and physicality, and appear to have a life of their own. The lines formed by KUNIHISA Mayu (born 1983, Osaka) in ever-evolving paintings of overlapping arcs, track the painter in motion. The blank spaces that frequently appear in the center of her paintings indicate the physical limit of her reach, and at the same time seem like inviolable domains. By including a playful element in her works, YANO Eriko (born 1987, Kagawa), who creates art out of feelings that arise in everyday life, gives humorous visual expression to a variety of emotions. SHINTAKU Kanako (born 1994, Oita), who says that dripping paint on her body confirms her sensation of "being here now," may well be acknowledging the existence of herself sensing the paint as it morphs on her skin from moment to moment. The acts undertaken by YAMASHITA Mai + KOBAYASHI Naoto (born 1976 and 1974, Chiba), who engage with the other/others, primarily nature and animals, at first glance appear meaningless, but witnessing their ongoing repetition, we sense a subtle shift in our relationship with the world.

Contours grasped for a moment may be fleeting, but perhaps all the more beautiful and powerful for that.

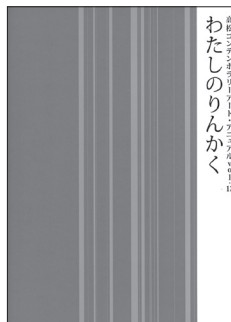
- ◆会期 2025年2月1日(土)～3月16日(日) 38日間
- ◆休館日 月曜日(2月24日[月・振休]開館)、2月25日(火)
- ◆主催 高松市美術館
- ◆助成 一般財団法人自治総合センター、公益財団法人朝日新聞文化財団、公益財団法人野村財団
- ◆協力 A Lighthouse called Kanata, Takuro Someya Contemporary Art
- ◆入場料 一般 1,000円、大学生 500円、高校生以下無料
- ◆入場者数 3,041人
- ◆担当学芸員 橘美貴、尾形絵里子



(チラシ表)



(チラシ裏)



(図録)



(B2ポスター)



(B3ポスター)



ライブパフォーマンス



ギャラリートーク



ライブペインティング



横山翔平



國久真有



矢野恵利子



新宅加奈子



山下麻衣+小林直人

◆講演会

アーティスト・トーク

日時：2月1日(土) 13:00～15:30

出演：全出品作家

場所：1階講堂

参加者数：188(133)人

※参加者数()は、参加者数のうち、ライブ配信視聴者数

◆イベント

新宅加奈子：ライブパフォーマンス

日時：2月1日(土) 16:30～18:30

出演：新宅加奈子(出品作家)

場所：2階展示室

参加料：無料(観覧券要)

國久真有：ライブペインティング

日時：2月1日(土)～2月11日(火・祝) 11:00～16:30

出演：國久真有(出品作家)

会場：1階エントランスホール

参加料：無料

國久真有：参加型プログラム「WIT-WIT DRAWING」

日時：会期中いつでも

会場：1階エントランスホール

対象：どなたでも

参加料：無料

エントランス・ミニコンサート「うたのりんかく」(p.38)

ふらっとアート「わたしのりんかくをつくろう」(p.35)

◆ギャラリートーク

日時：2月2日(日)、2月23日(日) 14:00～

講師：橘美貴(高松市学芸員)、尾形絵里子(当館学芸員)

場所：2階展示室

料金：無料(観覧券要)

参加者数：延べ31人

日時：会期中の日曜日(2月2日・23日を除く5回) 14:00～

講師：美術館ボランティアcivi(シヴィ)

場所：2階展示室

料金：無料(観覧券要)

参加者数：延べ95人

◆主な新聞・雑誌等関連記事

四国新聞／1月30日、2月1日、2月4日、2月6日、2月13日「アートで「輪郭」問いかけ 作家6人展、多様な表現」、2月20日、2月27日、3月6日

美術展びあ2025

調査月報／1月号

広報高松／2月号

芸術新潮／2月号

美術の窓／2月号、3月号

せとうちアート通信／vol.11

月刊ギャラリー／2022秋冬号

せとうちアート通信／2月号、3月号

ナスタウン／3月号

地域創造レター／3月号

博物館研究／3月号

◆図録

『高松コンテンポラリーアート・アニュアルvol.12 わたしのりんかく』

編集：橘美貴(高松市学芸員)、尾形絵里子、井上奈緒、片山由奈、坂東美穂、福田千恵、毛利直子(高松市美術館学芸員)

デザイン：矢野恵司

写真：田中美句登

翻訳：三木パメラ(三木アソシエイツ)

印刷・製本：株式会社太陽社

発行：高松市美術館

仕様：24.2×18.0cm、64頁

◆ポスター・チラシ

デザイン：矢野恵司

◆作品リスト(pp.19-22)

GIANT 日本の巨大ロボット群像 ROBOTS The Core of Japanese Mecha Anime

会期：2024年4月20日（土）～6月16日（日）
高松市美術館

- ・本目録掲載順と展示順は、同一ではございません。
- ・事情により、一部展示物が展示されていない場合がございます。

第1章

・実物巨大大ロボット映像
（動く実物大ガンダム、鉄人28号、98式AVイングラム、スコープドッグ）

〔動くガンダム、スコープドッグ、鉄人28号〕撮影・編集 泉山朗土
〔動くガンダム タイムラプス〕
映像提供：一般社団法人ガンダムGLOBAL CHALLENGE
〔98式AVイングラム〕
映像提供：東北新社

・VF-25F メサイア パネル

・ガンヘッド パネル

・鬼頭栄作
98式AVイングラム 雛形
個人蔵

第2章

・鉄人28号モノリス型展示物（6体）
鉄人28号（1960）/鉄人28号（1963）/
太陽の使者 鉄人28号（1980）/
超電動ロボ 鉄人28号FX（1992）/
鉄人28号（2005）/
鉄人28号 白昼の残月（2007）

・加藤直之
『鉄人28号』秋田漫画文庫
第1巻カバーイラスト
1976年
グアッシュ・紙
作家蔵

・加藤直之
『鉄人28号』秋田漫画文庫
第2巻カバーイラスト
1976年
作家蔵

・加藤直之
『鉄人28号』秋田漫画文庫
第3巻カバーイラスト
1976年
作家蔵

・加藤直之
『鉄人28号』秋田漫画文庫
第4巻カバーイラスト
1976年
作家蔵

・加藤直之
『鉄人28号』秋田漫画文庫
第5巻カバーイラスト
1976年
作家蔵

・加藤直之
『鉄人28号』秋田漫画文庫
第6巻カバーイラスト
1976年
作家蔵

・加藤直之
『鉄人28号』秋田漫画文庫
第7巻カバーイラスト
1976年
作家蔵

・加藤直之
『鉄人28号』秋田漫画文庫
第8巻カバーイラスト
1976年
作家蔵

・加藤直之
『鉄人28号』秋田漫画文庫
第9巻カバーイラスト
1976年
作家蔵

・加藤直之
『鉄人28号』秋田漫画文庫
第10巻カバーイラスト
1976年
作家蔵

・加藤直之
『鉄人28号』秋田漫画文庫
第11巻カバーイラスト
1976年
作家蔵

・ポビー
超金属 鉄人28号
1981年
個人蔵

・『鉄人28号』（2005）旧リモートコントロール
クロスメディア蔵

・『鉄人28号』（2005）新型リモートコントロール
クロスメディア蔵

・『鉄人28号』（2005）正太郎少年訓練グローブ/両手
クロスメディア蔵

・『鉄人28号』（2005）カメラアイ（ゴーグル）
クロスメディア蔵

・『鉄人28号』（2005）パンフレット・チラシ
クロスメディア蔵

・鬼頭栄作
舞台版『鉄人28号』雛形
個人蔵

・舞台版『鉄人28号』
オフィシャルプログラム
個人蔵

・復刻版『鉄人28号』全8冊
大都社刊
1974年
個人蔵

・『アニメージュ』（1980年9月号）
徳間書店刊
個人蔵

第3章

- ・『マジンガーZ』 大型パネル
- ・『ゲッターロボ』 バナー
- ・『ゲッターロボ』 解説パネル
- ・『ゲッターロボG』 解説パネル
- ・『鋼鉄ジーグ』 解説パネル
- ・『勇者ライディーン』 解説立体パネル
- ・『超電磁ロボ コン・バトラーV』
壁面構成 (一式)
- ・宮武一貴【特別出品】
《ザンボット3》
1997年
作家蔵
- ・宮武一貴
《巨大ロボットを巨大に描く—1970年代編—》
2023年
作家蔵
- ・宮武一貴
《巨大ロボットを巨大に描く—1990年代編—》
2023年
作家蔵

- ・BANDAI SPIRITS
DX 超合金魂 マジンガーZ
50th Anniversary Ver.
2023年
協力：BANDAI SPIRITS

- ・ポピー
超合金 マジンガーZ
1974年
個人蔵

- ・ポピー
DX 超合金 勇者ライディーン
1975年
個人蔵

特別展示 スタジオぬえ

- ・スタジオぬえ 大型パネルゼロテスター/宇宙戦艦ヤマト/ 超時空要塞マクロス/機甲天使ガブリエル
- ・機動歩兵疑似着用システム
- ・加藤直之・宮武一貴
《宇宙の戦士》
1977年

複写 (本展のために拡大して出力)
スタジオぬえ 蔵 (原版)

- ・バンダイ
テスター1号機
個人蔵
・テスター1号機・木型模型
個人蔵

- ・加藤直之
《軌道都市》
2023年
作家蔵

- ・加藤直之
《機動歩兵》
2004年 (2023年本展出品のために修正)
作家蔵

- ・「MECHA-MAKING スタジオぬえのデザインノート」
『アニメージュ』1981年11月号付録
徳間書店刊
個人蔵

- ・「機動歩兵の5面図」(宮武一貴・画)
『S-Fマガジン』1980年11月臨時増刊号
早川書房刊
個人蔵

- ・ロバート・A・ハイライン著/矢野徹訳
『宇宙の戦士』(新版)
ハヤカワ SF文庫 早川書房刊
1979年発行
個人蔵

- ・「ファンタスティック・コレクションNo.8」
SFイラストの世界 スタジオぬえのすべて
朝日ソノラマ
1978年
個人蔵

第4章

- ・実物大ガンダムイメージ (床面フィルム)

- ・実物大ガンダム武器イメージ (壁面バナー)

- ・『機動戦士ガンダム』 第1話分析造形物 (8点)

- ・長い行程を経て成立したガンダムのデザイン (9点)

- ・バンダイ模型
1/100 ガンダム
1980年
個人蔵

- ・クローバー

ガンダム DX 合体セット
1979年
個人蔵

第5章

- ・ロボット兵ラムダ (『ルパン三世PART2』) 紹介パネル (一式)

- ・ロボット兵ラムダ 実物大パネル

- ・ガーランド (『メガゾーン23』)
紹介パネル (一式)

- ・ガーランド (ロボット形態)
実物大パネル

- ・ガーランド (バイク形態)
実物大パネル

- ・ウォーカーマシン (『戦闘メカ ザブングル』) 紹介パネル

- ・レッグタイプ
実物大パネル (赤、緑)

- ・コンバットアーマー (『太陽の牙ダグラム』) 紹介パネル

- ・ダグラム頭部、肩部 実物大パネル

- ・アーマード・トルーパー (『装甲騎兵ボトムズ』) 紹介パネル

- ・スコープドッグ 実物大パネル

- ・スコープドッグ降着状態
実物大パネル

大河原邦男
モックアップ：スコープドッグ
1981年頃
個人蔵

- ・タカラ
1/24 デュアルモデル スコープドッグ
1983年
個人蔵

- ・『エキサイティングバイク』1985年10月号
大洋図書刊
個人蔵

- ・『月刊ニュータイプ』1986年2月号
角川書店刊
個人蔵

第6章

- ・宮武一貴

マジンガーZ 内部透視図 パナー

・加藤直之
ライディーン内部透視図 パナー

・田中精美
バルキリー内部透視図 パナー

・永野護
エルガイム Mk-II ムーバブルフレーム
パナー

・大河原邦男
ガンダム内部透視図 パネル

・河森正治
ガンダム 点検パネルオープン パネル
『宇宙駆ける戦士たち GUNDAM CENTURY』掲載
〈みのり書房、1981年9月22日発行〉

・1/60 ガンダム メンテナンスハッチ・オープン（藤川政秀 制作）パネル
月刊ホビージャパン 5月号別冊『HOW TO BUILD GUNDAM 2』掲載
〈ホビージャパン、1982年5月1日発行〉

・大河原邦男
ダグラム カットモデル用内部図 パネル

・ロボットの内部メカは、映像でどのように描かれたか？ 映像以下のアニメタイトルより映像抜粋

●『トップをねらえ!』〈第5話より〉
1988年10月7日 - 1989年7月7日発売（全6話） 製作：バンダイ（※）、ビクター音楽産業（現・フライングドッグ）制作：GAINAX 監督：庵野秀明
※バンダイが製作し、現在はバンダイナムコフィルムワークスが映像事業を継承しています。

●『勇者特急マイトガイン』〈第1話、第27話より〉 1993年1月30日 - 1994年1月22日 制作：名古屋テレビ、東急エージェンシー、サンライズ（現・バンダイナムコフィルムワークス）
監督：高松信司

●『勇者警察ジェイデッカー』〈第4話より〉 1994年2月5日 - 1995年1月28日 制作：名古屋テレビ、東急エージェンシー、サンライズ（現・バンダイナムコフィルムワークス）
監督：高松信司

●『黄金勇者ゴルドラン』〈第2話、第15話、第22話より〉
1995年2月4日 - 1996年1月27日 制作：名古屋テレビ、東急エージェンシー、サンライズ（現・バンダイナムコフィルムワークス）
監督：高松信司

●『勇者指令ダグオン』〈第31話より〉 1996年2月3日 - 1997年1月25日 制作：名古屋テレビ、東急エージェンシー、サンライズ（現・バンダイナムコフィルムワークス）
監督：望月智充

●『勇者王ガオガイガー』〈第1話、第31話より〉 1997年2月1日 - 1998年1月31日 制作：名古屋テレビ、東急エージェンシー、サンライズ（現・バンダイナムコフィルムワークス）
監督：米たにヨシトモ

●『熱血最強ゴウザウラー』〈第29話より〉 1993年3月3日 - 1994年2月23日 製作：テレビ東京、読売広告社、サンライズ（現・バンダイナムコフィルムワークス） 監督：川瀬敏文

・永野護
ディー・カイゼリン パネル

・永野護
ディー・カイゼリン 内部骨格 パネル

・バンダイ
1/72 メカニック・モデル ガンダム
1981年発売
個人蔵

・タカラ
1/48 デュアルモデル
コンバットアーマー ダグラム
1981年発売
個人蔵

・バンダイ
1/100 フルアクション エルガイム
1984年発売
個人蔵

・バンダイ
1/100 ドラグナー1型カスタム
1987年発売
個人蔵

・バンダイスピリッツ
PERFECT GRADE UNLLEASHED
1/60 RX-78-2 ガンダム
2020年発売
個人蔵

第7章

・『地球防衛企業ダイ・ガード』 作品紹介パネル

・『勇者王ガオガイガー』 スターガオガイガーパネル

・『THE ビッグオー』 展示パネル

・『THE ビッグオー』

絵コンテパネル（26話）

・『THE ビッグオー』 設定資料パネル

・『THE ビッグオー』
イメージボード パネル

・ゲキ・ガンガー3（『機動戦艦ナデシコ』）展示パネル

・『ジャイアントロボ THE ANIMATION 地球が静止する日』 展示パネル

・『ジャイアントロボ THE ANIMATION 地球が静止する日』 抜粋映像
EPISODE:1/EPISODE:2/EPISODE:5/
LAST EPISODE

・山下明彦
ジャイアントロボ（ラフ）
1991年
個人蔵

・山下明彦
ジャイアントロボ（ラフ）
1991年
個人蔵

・山下明彦
ジャイアントロボ（頭部デザイン）
1992年
個人蔵

・小曽根正美
GR-2
1994年
個人蔵

・小曽根正美
GR-2（頭部ほか）
1994年
個人蔵

・さとうけいいち
ネプチューン
1994年
個人蔵

・山下明彦
維新竜・暁（変形プロセス）
1992年
個人蔵

・窪岡俊之
大作の腕時計
1992年
個人蔵

・窪岡俊之
大作の腕時計（通信時）
1992年

・窪岡俊之 銀鈴（表情ラフ）
個人蔵

・窪岡俊之
鉄牛（ラフ）
1991年

・窪岡俊之
BF 団戦闘員
1991年
個人蔵

最終章

・識者インタビュー パネル

特別展

五大浮世絵師展

歌麿 写楽 北斎 広重 国芳

高松市美術館
TAKAMATSU ART MUSEUM

2024 10.12 土 SAT — 12.8 日 SUN

- ・番号、作者名、作品名、判型、年代の順に記載した。
- ・展示順は番号順と一致しない。
- ・50、64については、高松会場で不出品のため本リストでは欠番としている。

1 喜多川歌麿—物想う女性たち

1	喜多川歌麿	西ノ方関 浅草 難波屋きた 東ノ方関 両国 高しまひき	横間判錦絵	寛政5年（1793）頃
2	喜多川歌麿	当世踊子揃 吉原雀	豎大判錦絵	寛政5-6年（1793-94）頃
3	喜多川歌麿	五人美人愛敬競 兵庫屋花妻	豎大判錦絵	寛政7-8年（1795-96）頃
4	喜多川歌麿	契情三人酔 三幅之内 笑上戸	豎間判錦絵	寛政7-8年（1795-96）頃
5	喜多川歌麿	美人十容 有徳人の女房	豎間判錦絵	寛政9-10年（1797-98）頃
6	喜多川歌麿	あわび取り	大判錦絵三枚続	寛政後期（1794-1800）頃
7	喜多川歌麿	両国橋上橋下納涼之図（橋下の図）	豎大判錦絵上下三枚続のうち下三枚続	寛政後期（1795-1800）頃
8	喜多川歌麿	青楼仁和嘉 二のかわり 江戸花籠の朝顔	豎間判錦絵	寛政10年（1798）頃
9	喜多川歌麿	穀物打ち	豎間判錦絵	寛政10年（1798）頃
10	喜多川歌麿	女織蚕手業草 七～九	大判錦絵十二枚続のうち三枚続	寛政10-12年（1798-1800）頃
11	喜多川歌麿	遊君鏡八契 蚊帳の内外	豎大判錦絵	寛政10-12年（1798-1800）頃
12	喜多川歌麿	山姥と金太郎	豎大判錦絵	寛政末-享和初年（1798-1801）頃
13	喜多川歌麿	風流子寶合 大からくり	豎大判錦絵	享和2年（1802）頃
14	喜多川歌麿	教訓親の目鑑 俗二云 ぐうたら兵衛	豎大判錦絵	享和2年（1802）頃
15	喜多川歌麿	教訓親の目鑑 俗二云 ばくれん	豎大判錦絵	享和2年（1802）頃
16	喜多川歌麿	お千代 半兵衛	豎間判錦絵	享和3年（1803）頃

2 東洲斎写楽—役者絵の衝撃

17	東洲斎写楽	三世沢村宗十郎の大岸蔵人	豎大判錦絵	寛政6年（1794）
18	東洲斎写楽	二世嵐龍蔵の金貸石部金吉	豎大判錦絵	寛政6年（1794）
19	東洲斎写楽	三世市川八百蔵の田辺文蔵	豎大判錦絵	寛政6年（1794）
20	東洲斎写楽	中山富三郎の宮城野	豎大判錦絵	寛政6年（1794）
21	東洲斎写楽	尾上松助の松下造酒之進	豎大判錦絵	寛政6年（1794）
22	東洲斎写楽	四世岩井半四郎の乳人重の井	豎大判錦絵	寛政6年（1794）
23	東洲斎写楽	三世坂東彦三郎の鷺坂左内	豎大判錦絵	寛政6年（1794）
24	東洲斎写楽	二世坂東三津五郎の百姓深草の治郎作	豎細判錦絵	寛政6年（1794）
25	東洲斎写楽	三世大谷鬼次の川島治部五郎	豎細判錦絵	寛政6年（1794）
26	東洲斎写楽	八世森田勘弥の由良兵庫之介信忠	豎細判錦絵	寛政6年（1794）
27	東洲斎写楽	三世坂田半五郎の矢筈の矢田平	豎細判錦絵	寛政6年（1794）
28	東洲斎写楽	六代目市川団十郎の曾我の五郎時宗	豎細判錦絵	寛政7年（1795）
29	東洲斎写楽	大童山土俵入り 谷風、雷電、花頂山、達ヶ関、宮城野	豎大判錦絵	寛政6年（1794）
30	東洲斎写楽	大童山土俵入り 大童山文五郎	豎大判錦絵	寛政6年（1794）
31	東洲斎写楽	大童山土俵入り 陣幕、玉垣、九紋龍、勢見山、和田ヶ原	豎大判錦絵	寛政6年（1794）

3 葛飾北斎—怒涛のブルー

32	葛飾北斎	四代目松本幸四郎の工藤と二代目小佐川常世の月さよ	豎細判錦絵	寛政2年(1790)
33	葛飾北斎	風流四季の月 なつ	豎中判錦絵	寛政3年(1791)
34	葛飾北斎	仁和嘉狂言 五月の部 すゞめおどり	豎中判錦絵	安永末-寛政初期(1778-91)頃
35	葛飾北斎	仮名手本忠臣蔵 三段目	横大判錦絵	文化3年(1806)頃
36	葛飾北斎	仮名手本忠臣蔵 八段目	横大判錦絵	文化3年(1806)頃
37	葛飾北斎	仮名手本忠臣蔵 十段目	横大判錦絵	文化3年(1806)頃
38	葛飾北斎	東海道五十三次 絵本駅路鈴 平塚	豎中判錦絵	文化7年(1810)頃
39	葛飾北斎	東海道五十三次 絵本駅路鈴 三島	豎中判錦絵	文化7年(1810)頃
40	葛飾北斎	東海道五十三次 絵本駅路鈴 藤枝	豎中判錦絵	文化7年(1810)頃
41	葛飾北斎	東海道五十三次 絵本駅路鈴 白須賀	豎中判錦絵	文化7年(1810)頃
42	葛飾北斎	東海道五十三次 絵本駅路鈴 水口	豎中判錦絵	文化7年(1810)頃
43	葛飾北斎	東海道五十三次 絵本駅路鈴 大津	豎中判錦絵	文化7年(1810)頃
44	葛飾北斎	文字絵六歌仙 小野小町	豎大判錦絵	文化7年(1810)頃
45	葛飾北斎	文字絵六歌仙 在原業平	豎大判錦絵	文化7年(1810)頃
46	葛飾北斎	文字絵六歌仙 大伴黒主	豎大判錦絵	文化7年(1810)頃
47	葛飾北斎	文字絵六歌仙 喜撰法師	豎大判錦絵	文化7年(1810)頃
48	葛飾北斎	文字絵六歌仙 文屋康秀	豎大判錦絵	文化7年(1810)頃
49	葛飾北斎	文字絵六歌仙 僧正遍昭	豎大判錦絵	文化7年(1810)頃
51	葛飾北斎	富嶽三十六景 神奈川沖浪裏	横大判錦絵	天保2年(1831)頃
52	葛飾北斎	富嶽三十六景 山下白雨	横大判錦絵	天保2年(1831)頃
53	葛飾北斎	富嶽三十六景 江戸日本橋	横大判錦絵	天保2年(1831)頃
54	葛飾北斎	富嶽三十六景 相州七里浜	横大判錦絵	天保2年(1831)頃
55	葛飾北斎	富嶽三十六景 五百らかん寺さぎみどう	横大判錦絵	天保2年(1831)頃
56	葛飾北斎	富嶽三十六景 東都駿台	横大判錦絵	天保2年(1831)頃
57	葛飾北斎	富嶽三十六景 武州千住	横大判錦絵	天保2年(1831)頃
58	葛飾北斎	富嶽三十六景 従千住花街眺望ノ不二	横大判錦絵	天保2年(1831)頃
59	葛飾北斎	富嶽三十六景 武州玉川	横大判錦絵	天保2年(1831)頃
60	葛飾北斎	富嶽三十六景 東海道金谷ノ不二	横大判錦絵	天保2年(1831)頃
61	葛飾北斎	諸国名橋奇覧 三河の八つ橋の古図	横大判錦絵	天保4-5年(1833-34)頃
62	葛飾北斎	諸国名橋奇覧 足利行道山くものかけはし	横大判錦絵	天保4-5年(1833-34)頃
63	葛飾北斎	百物語 笑ひはんにや	豎中判錦絵	天保2-3年(1831-32)頃
65	葛飾北斎	百物語 しょうねん	豎中判錦絵	天保2-3年(1831-32)頃
66	葛飾北斎	芍薬 カナアリ	豎中判錦絵	天保5年(1834)頃
67	葛飾北斎	鎌倉の権五郎景政 鳥の海弥三郎保則	豎大判錦絵	天保4-6年(1833-35)頃
68	葛飾北斎	楠多門丸正重 八尾の別当常久	豎大判錦絵	天保4-6年(1833-35)頃
69	葛飾北斎	詩哥写真鏡 伯楽天	豎長大判錦絵	天保4-6年(1833-35)頃
70	葛飾北斎	百人一首うはかゑとき 文屋朝康	横大判錦絵	天保6年(1835)頃
71	葛飾北斎	『北斎漫画』 初~15編	半紙本14冊	文政11-明治11年(1828-78)

4 歌川広重—雨・月・雪の江戸

72	歌川広重	極彩色今様うつしゑ 美人仙女香	豎間判錦絵	文政4-5年(1821-22)頃
73	歌川広重	外と内姿八景 格子の夜雨 まかきの情らむ	豎大判錦絵	文政4-5年(1821-22)頃
74	歌川広重	外と内姿八景 田甫の落雁 衣々の晩鐘	豎大判錦絵	文政4-5年(1821-22)頃

75	歌川広重	外と内姿八景 ろうかの暮雪 座敷の夕せう	竪大判錦絵	文政4-5年（1821-22）頃
76	歌川広重	外と内姿八景 棧橋の秋月 九あけの妓はん	竪大判錦絵	文政4-5年（1821-22）頃
77	歌川広重	東海道五拾三次之内 日本橋 朝之景	横大判錦絵	天保4-5年（1833-34）頃
78	歌川広重	東海道五拾三次之内 箱根 湖水図	横大判錦絵	天保4-5年（1833-34）頃
79	歌川広重	東海道五拾三次之内 三島 朝霧	横大判錦絵	天保4-5年（1833-34）頃
80	歌川広重	東海道五拾三次之内 蒲原 夜之雪	横大判錦絵	天保4-5年（1833-34）頃
81	歌川広重	東海道五拾三次之内 丸子 名物茶店	横大判錦絵	天保4-5年（1833-34）頃
82	歌川広重	東海道五拾三次之内 見附 天竜川図	横大判錦絵	天保4-5年（1833-34）頃
83	歌川広重	東海道五拾三次之内 池鯉鮒 首夏馬市	横大判錦絵	天保4-5年（1833-34）頃
84	歌川広重	東海道五拾三次之内 四日市 三重川	横大判錦絵	天保4-5年（1833-34）頃
85	歌川広重	東海道五拾三次之内 庄野 白雨	横大判錦絵	天保4-5年（1833-34）頃
86	歌川広重	東海道五拾三次之内 亀山 雪晴	横大判錦絵	天保4-5年（1833-34）頃
87	歌川広重	東海道五拾三次之内 大津 走井茶店	横大判錦絵	天保4-5年（1833-34）頃
88	歌川広重	東海道五拾三次 大尾 京師 三條大橋	横大判錦絵	天保4-5年（1833-34）頃
89	歌川広重	近江八景之内 唐崎夜雨	横大判錦絵	天保5-6年（1834-35）頃
90	歌川広重	近江八景之内 堅田落雁	横大判錦絵	天保5-6年（1834-35）頃
91	歌川広重	江戸近郊八景之内 池上晚鐘	横大判錦絵	天保7-8年（1836-37）頃
92	歌川広重	江戸近郊八景之内 玉川秋月	横大判錦絵	天保7-8年（1836-37）頃
93	歌川広重	魚づくし かながしらとかれい	横大判錦絵	天保3-4年（1832-33）頃
94	歌川広重	月に雁	中短冊判	天保5-6年（1834-35）頃
95	歌川広重	鴛鴦図	中短冊判	天保5-6年（1834-35）頃
96	歌川広重	月二拾八景之内 弓張月	大短冊判	天保3年（1832）頃
97	歌川広重	甲陽猿橋之図	大判錦絵竪二枚 続	天保13年（1842）頃
98	歌川広重	富士川上流の雪景	大判錦絵竪二枚 続	天保13年（1842）頃
99	歌川広重	見立浮ふね 江戸むらさき名所源氏 隅田川の渡	竪大判錦絵	天保15- 弘化3年（1844-46）頃
100	歌川広重	雪月花の内 月の夕部	大判錦絵三枚続	弘化3- 嘉永元年（1846-48）頃
101	歌川広重	江戸名所 四季の眺 高輪月の景	大判錦絵三枚続	弘化4- 嘉永5年（1847-52）
102	歌川広重	東都名所 両国夕すゞみ	大判錦絵三枚続	弘化4- 嘉永3年（1847-50）
103	歌川広重	名所江戸百景 大はしあたけの夕立	竪大判錦絵	安政4年（1857）
104	歌川広重	名所江戸百景 亀戸梅屋舗	竪大判錦絵	安政4年（1857）
105	歌川広重	名所江戸百景 吾妻橋金龍山遠望	竪大判錦絵	安政4年（1857）
106	歌川広重	名所江戸百景 水道橋駿河台	竪大判錦絵	安政4年（1857）

5 歌川国芳—ヒーローとスペクタクル

107	歌川国芳	大物浦新中納言知盛の霊	大判錦絵三枚続	文政初期（1818-21）頃
108	歌川国芳	通俗水滸伝豪傑百八人之一個 旱地忽律朱貴	竪大判錦絵	文政末年（1827-29）頃
109	歌川国芳	通俗水滸伝豪傑百八人之一個 智多星呉用	竪大判錦絵	文政末年（1827-29）頃
110	歌川国芳	通俗水滸伝豪傑百八人之一個 黒旋風李逵 一名 李鉄牛	竪大判錦絵	文政末年（1827-29）頃
111	歌川国芳	通俗水滸伝豪傑百八人之一人 浪裡白跳張順	竪大判錦絵	文政末年（1827-29）頃
112	歌川国芳	通俗水滸伝豪傑百八人之一個 設遮欄穆弘 撲天鷗李応	竪大判錦絵	文政末年（1827-29）頃
113	歌川国芳	本朝水滸伝剛勇八百人一個 宮本無三四	竪大判錦絵	天保4-6年（1833-35）頃

114	歌川国芳	本朝水滸伝豪傑八百人一個 尾形周馬寛行	豎大判錦絵	天保4-6年(1833-35)頃
115	歌川国芳	樋口治郎	豎大判錦絵	天保7年(1836)頃
116	歌川国芳	小子部栖軽豊浦里捕雷	豎大判錦絵	天保7-8年(1836-37)頃
117	歌川国芳	天竺徳兵衛	豎大判錦絵	天保7-8年(1836-37)頃
118	歌川国芳	下野之国奈須の原 金毛白面九尾の悪 狐たいじの図	大判錦絵三枚続	天保前期(1830-35)
119	歌川国芳	堀川夜討 土佐坊昌俊遠寄之図	大判錦絵三枚続	天保14- 弘化4年(1843-47)頃
120	歌川国芳	源頼家公鎌倉小壺ノ海遊覧 朝夷義秀 雌雄鱈を捕ふ図	大判錦絵三枚続	天保14- 弘化4年(1843-47)頃
121	歌川国芳	眞田与市能久 俣野五郎景久	大判錦絵三枚続	弘化4- 嘉永5年(1847-52)
122	歌川国芳	相馬の古内裏	大判錦絵三枚続	弘化年間(1844-48)
123	歌川国芳	大物之浦海底之図	大判錦絵三枚続	嘉永2-4年(1849-51)頃
124	歌川国芳	讃岐院眷属をして為朝をすくふ図	大判錦絵三枚続	嘉永3-5年(1850-52)頃
125	歌川国芳	酒田公時 碓井貞光 源次綱と妖怪	大判錦絵三枚続	文久元年(1861)
126	歌川国芳	唐土姫 天竺冠者 斯波右衛門	大判錦絵三枚続	弘化4年(1847)
127	歌川国芳	昔ばなしの戯猫又年をへて古寺に怪を なす図	大判錦絵三枚続	弘化4- 嘉永5年(1847-52)
128	歌川国芳	「児雷也豪傑譚」大蝦蟇の図	大判錦絵三枚続	嘉永5年(1852)
129	歌川国芳	名誉 右に無敵左り甚五郎	大判錦絵三枚続	嘉永元年(1848)頃
130	歌川国芳	流行逢都絵希代稀物	大判錦絵三枚続	嘉永5年(1852)頃
131	歌川国芳	白井峠より浅間を見る図	横大判錦絵	天保2-3年(1831-32)頃
132	歌川国芳	東都名所 佃嶋	横大判錦絵	天保3-4年(1832-33)頃
133	歌川国芳	東都名所 大森	横大判錦絵	天保3-4年(1832-33)頃
134	歌川国芳	東都名所 するがだひ	横大判錦絵	天保3-4年(1832-33)頃
135	歌川国芳	近江の国の勇婦於兼	横大判錦絵	天保2-3年(1831-32)頃
136	歌川国芳	二十四孝童子鑑 董永	横大判錦絵	天保14- 弘化元年(1843-44)頃
137	歌川国芳	当流 女諸礼躰方 はおりたゝみやう	豎大判錦絵	天保前期(1830-35)
138	歌川国芳	当流 女諸礼躰方 小袖きかへ様	豎大判錦絵	天保前期(1830-35)
139	歌川国芳	大願成就有ヶ瀧編 金閣寺	豎大判錦絵	天保14- 弘化4年(1843-47)頃
140	歌川国芳	四季心女遊 夏	中判錦絵三枚続	天保14- 弘化4年(1843-47)頃
141	歌川国芳	四季心女遊 秋	中判錦絵三枚続	天保14- 弘化4年(1843-47)頃
142	歌川国芳	八町づゝみ夜のけい	大判錦絵三枚続	弘化元-4年(1844-47)頃
143	歌川国芳	両国納涼花火	大判錦絵三枚続	嘉永中期(1850-51)
144	歌川国芳	としよりのよふな若い人だ	豎大判錦絵	弘化4-5年(1847-48)頃
145	歌川国芳	人かたまつて人になる	豎大判錦絵	弘化4-5年(1847-48)頃
146	歌川国芳	白面笑壁のむだ書	大判錦絵三枚組	嘉永年間(1848-53)

【高松会場特別展示】国芳の合戦図

※特別展示作品は全て高松市歴史資料館蔵

147	歌川国芳	八嶋大合戦図	大判錦絵三枚続	天保期(1830-1844)
148	歌川国芳	源平盛衰記 駿河国富士川合戦図	大判錦絵三枚続	天保期(1830-1844)
149	歌川国芳	壇浦戦之図	大判錦絵三枚続	弘化元年(1844)頃
150	歌川国芳	大物浦平家亡霊図	大判錦絵三枚続	弘化4-5年(1847-48)頃

横山翔平 | *YOKOYAMA Shohei*

1985年岡山県生まれ。2008年大阪芸術大学工芸学科ガラス工芸コースを卒業し、同大学の非常勤助手となる。2011年金沢卯辰山工芸工房に入所、2014年から富山ガラス造形研究所の助手を、2018年から多摩美術大学工芸学科ガラスプログラム助手を経て、現在は同大学で非常勤講師を務めている。

近年の個展に2018年「静を孕む」(リバーリトリート雅楽俱、富山)、2019年「横山翔平展一流動一」(丸八製茶場一笑、石川)など、グループ展に2021年「GO FOR KOGEI」(石川、富山、福井)、2023年「吹きガラス-妙なるかたち、技の妙-」(サントリー美術館、東京)など多数。2014年と2020年に石川県能登島ガラス美術館に作品が収蔵され、2022年には第15回岡山県新進美術家育成「I氏賞」大賞を受賞するなど受賞歴も多数。

横山が生み出すガラス作品は生命を内包しているような有機的な印象を与える。高温の炉で熱されたガラスを成形できるのはわずかな時間であり、その一瞬のうちに横山は様々な判断を下しながら、柔らかいガラスに息を吹き込んだり、身体を大きく使って練ったりする。横山いわく、そのように生み出された作品には彼自身の思考や身体が映し出されているのだ。

國久真有 | *KUNIHISA Mayu*

1983年大阪府生まれ。2003年ロンドン芸術大学セントラル・セント・マーチンズ校ファウンデーション・ディプロマ・イン・アート・アンド・デザインコース修了。2015年神戸芸術工科大学大学院芸術工学研究科芸術工学専攻博士後期課程満期退学。

近年の個展に2022年「國久真有一絵画を生きる」(西脇市岡之山美術館、兵庫)、同年「THE BUTTERFLY DREAM」(SOKYO ATSUMI、東京)、2024年「令和4年度咲くやこの花賞美術部門受賞記念展示『PLATEAM - 儂さと無我を愛する、ぐるぐる-』」(クリエイティブセンター大阪、大阪)、グループ展に2019年「六甲ミーツ・アート芸術散歩2019」(六甲、兵庫)、2020年「fの冒険~7人のアーティストによる平面表現の魅力~」(あまらぶアートラボ「A-Lab」、兵庫)、2024年「川崎市市制100周年記念展 芸術は、自由の実験室-夏のアートキャンプ」(川崎市岡本太郎美術館)など多数。2019年に第22回岡本太郎現代芸術賞特別賞を受賞、2022年に令和4年度咲くやこの花賞 美術部門(現代美術)を受賞している。

國久が展開するのは、さまざまな色の弧線を重ねた絵画作品だ。それらの線は國久の動きの軌跡であり、色の選択や画面の構成は制作現場の環境、気分、それまでに見てきたものなどに影響を受けるといふ。たびたび画面の中央に表れる空白は、小柄な彼女の腕が届かなかった部分であり、彼女の身体の限界を示すとともに、人が侵すことのできない領域のようにも感じられる。

矢野恵利子 | *YANO Eriko*

1987年香川県生まれ。2010年武蔵野美術大学造形学部工芸工業デザイン学科陶磁コース卒業。東京を拠点に活動した後、2018年にはアイルランドへ拠点を移し現地レジデンス等に参加。2020年の帰国後、香川県を拠点に活動している。

近年の個展に2018年「HOLIDAY MACHINE」(The Guesthouse Project、アイルランド)、2021年「NEVER UNDER CONTROL」(浜松市鴨江アートセンター、静岡)、2023年「コレクトビジャー・正しい訪問」(広島芸術センター)、グループ展に2013年「瀬戸内国際芸術祭2013」(香川)、2022年「せとうちの大気 美術の視点」(香川県立ミュージアム)、2023年「あたらしい場所」(アートギャラリーミヤウチ、広島)などがある。

日常を過ごすなかで生じる感情から立ち上げられる矢野の作品には、イライラやモヤモヤなどネガティブな思いも含まれる。矢野はそれらの感情にあそびの要素を差し込むことでユーモラスに可視化し、解消方法を模索する。表現は陶芸や漫画など多岐に渡り、近年は鑑賞者が参加できるキネティックアートの作品も発表している。

新宅加奈子 | *SHINTAKU Kanako*

1994年大分県生まれ。2019年京都芸術大学大学院修士課程芸術科芸術専攻総合造形領域修了。

近年の個展に2019年「embodiment Shintaku kanako solo exhibition」(Kunststurz、京都)、同年「indication Shintaku kanako solo exhibition」(京都写真美術館)など、グループ展に2019年「小さいわたしたち」(+art gallery、大阪)、2021年「Up_01」(銀座 蔦屋書店GINZA ATRIUM、東京)、2024年「東京都展 The Echoes of EAST KYOTO」(WHAT CAFE、東京)など。パフォーマンスに2019年「ヨコハマトリエンナーレ2020 エピソード00」(神奈川)、2020年舞台「raw - 精神と肉体の展覧会-」(京都芸術センター co-progrem 採択企画)など。主な受賞歴に2020年京都府新鋭選抜展NHK京都放送局賞受賞、同年IAG AWARD 2020 奨励賞受賞などがある。

新宅は自身の身体に絵の具を垂らすパフォーマンスや、写真作品などで知られ、それは自分が「今ここにいる」という感覚を確認する方法だといふ。絵の具という物質が刻々と変化するのを皮膚の神経を介して感じるとき、彼女はそれを感じる自分自身の存在も認めているのだろう。

山下麻衣+小林直人 | *YAMASHITA Mai + KOBAYASHI Naoto*

山下麻衣(1976千葉県生まれ)と小林直人(1974年千葉県生まれ)によるユニット。ともに東京芸術大学大学院を修了後、2004年に渡独し、ドイツやアメリカなどでアーティスト・イン・レジデンスに参加。2012年の帰国後、千葉県を拠点に活動している。

近年の個展に2021年「蜃気楼か。」(黒部市美術館、富山)、2023年「もし太陽に名前がなかったら」(千葉県立美術館)などがあり、2024年夏には「他者に対して、また他者と共に」(水戸芸術館、茨城)を開催。主なグループ展に2019年「瀬戸内国際芸術祭2019」(香川)、2024年「バンク・アート・ビエンナーレ2024」(BACC、タイ)など多数。

山下麻衣+小林直人は、映像インスタレーションを中心に作品を制作しており、芝生のうえを何日もかけて走り続け踏まれた部分で「∞」を表す、浜辺に寄せる波を数え続けるなど、自然を相手に行う二人の行為は果てしない。無意味にも思われる行為が継続されるとき、羊を数えて眠りにつくように思考は溶け出し、自分と世界との関係をわずかに変化させるかもしれない。

Takamatsu Contemporary Art Annual vol.12 The Contour of Me

高松コンテンポラリーアート・アニニアルvol.12
わたしのりんかく




2025年2月1日(土) — 3月16日(日)
Saturday, February 1 – Sunday, March 16, 2025

横山翔平 | *YOKOYAMA Shohei*
 國久真有 | *KUNIHISA Mayu*
 矢野恵利子 | *YANO Eriko*
 新宅加奈子 | *SHINTAKU Kanako*
 山下麻衣+小林直人 | *YAMASHITA Mai + KOBAYASHI Naoto*

高松市美術館
TAKAMATSU ART MUSEUM

作品リスト | List of Exhibited Works

凡例：作家名 | 通し番号 | 作品名 | 制作年 | 技法材質 | サイズ(cm) | 所蔵先(表記のないものは作家蔵)

-  写真撮影は可能です。 Photography is permitted.
  動画撮影はできません。 Video recording is prohibited.
  美術作品には、お手を触れないでください。 Please don't touch the works of arts.

1F エントランス | Entrance

國久真有 | *KUNIHISA Mayu*

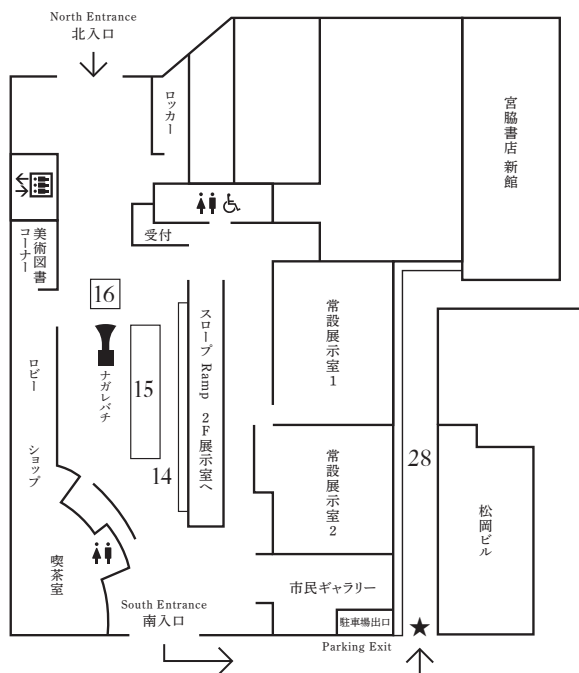
14. WIT-WIT HOLE WIDE LONG PLATEAU
2024 | アクリル、カンヴァス acrylic on canvas | 300.0×1941.6
15. WIT-WIT HOLE WIDE LONG -Live painting-
2025 | アクリル、カンヴァス acrylic on canvas | 300.0×1000.0
16. 参加型プログラム「WIT-WIT DRAWING」
Interactive program "WIT-WIT DRAWING"
2025 | ペン、カンヴァス pen on canvas | 300.0×300.0

美術館 外壁 | Exterior Wall

この作品は美術館東側に展示しています。南側から(★)お入りください。
The work is exhibited on the east side of the museum.
Please enter from the star-marked entrance on the south side.

山下麻衣+小林直人 |
YAMASHITA Mai + KOBAYASHI Naoto

28. ただ独り歩め Wander Alone
2025 | カットニングシート cutting sheet | 4852.0



壁面の左側に作品があります。お静かに鑑賞ください。
No.28 on the left side of the wall. Please view it quietly.

2F 第1会場 | First Venue

横山翔平 | YOKOYAMA Shohei

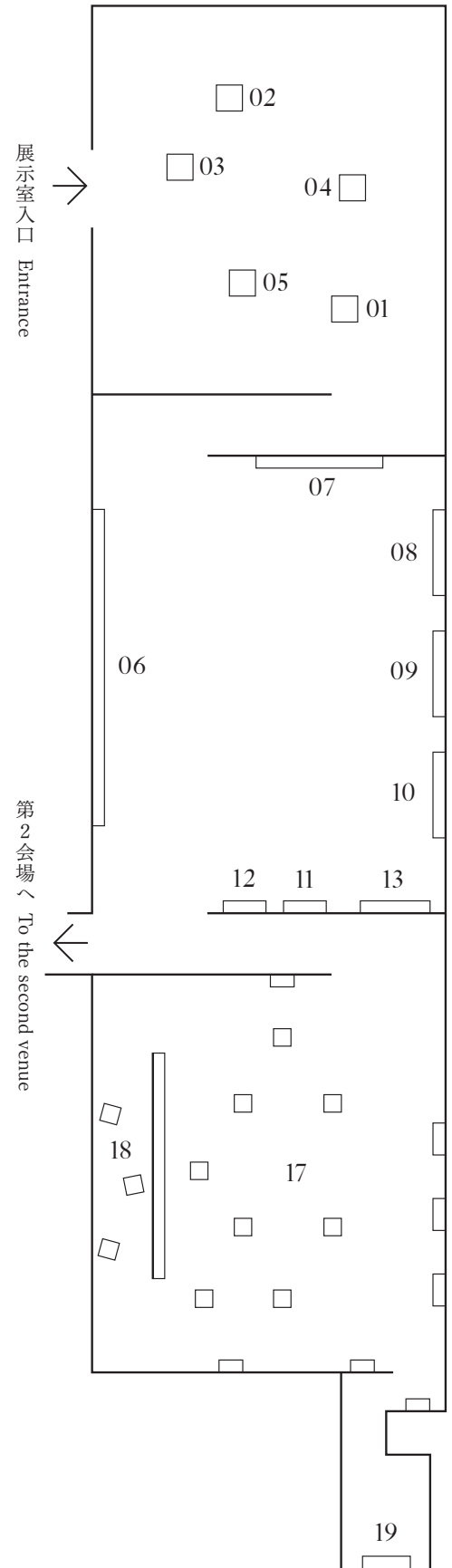
01. Amorphous 21-15
2021 | ホットワーク、ガラス hot work, glass | 70.0×45.0×45.0 |
ア・ライトハウス・カナタ A Lighthouse called Kanata
-
02. Amorphous 24-2
2024 | ホットワーク、ガラス hot work, glass | 70.0×60.0×60.0 |
ア・ライトハウス・カナタ A Lighthouse called Kanata
-
03. Amorphous 24-4
2024 | ホットワーク、ガラス hot work, glass | 38.0×52.0×36.0
-
04. Amorphous 25-2
2025 | ホットワーク、ガラス hot work, glass | 80.0×90.0×60.0
-
05. Amorphous 25-1
2025 | ホットワーク、ガラス hot work, glass | 100.0×60.0×60.0
-

國久真有 | KUNIHISA Mayu

06. WIT-WIT HOLE WIDE LONG BLACK
2025 | アクリル、カンヴァス acrylic on canvas | 300.0×1000.0
-
07. WIT-WIT HOLE NIGHT LIGHT
2019 | アクリル、カンヴァス acrylic on canvas | 300.0×300.0
-
08. BPM -DAY-
2024 | アクリル、カンヴァス acrylic on canvas | 294.0×294.0
-
09. WIT-WIT HOLE HONG KONG CLOUD
2015-23 | アクリル、カンヴァス acrylic on canvas | 300.0×300.0
-
10. WIT-WIT HOLE SILVER SPRING
2019 | アクリル、カンヴァス acrylic on canvas | 300.0×300.0
-
11. WIT-WIT SETOUCHI PINK BLUE
2014 | アクリル、カンヴァス acrylic on canvas | 300.0×200.0
-
12. WIT-WIT BLACK BLUE
2018 | アクリル、カンヴァス acrylic on canvas | 300.0×200.0
-
13. OUR METEOROLOGY
2023-24 | ペン、紙 pen on paper | 12.2×17.4, 21×29.7, 25.1×35.2
-

矢野恵利子 | YANO Eriko

17. Usako is maybe happy
2023, 2025 | 陶器 ceramics | 25×25×4.0他 29点
-
18. 3 interviews
2025 | ヴィデオ、モニター、ボードコンピューター、電子部品、回転部品、木材等 | 映像時間：約17分、約23分、約7分
video, monitor, board computer, electronic components, rotating parts, wood, etc. | 17min, 23min, 7min.
-
19. ひとがくる Someone is coming
2025 | 音楽、歌、アニメーション music, song, animation | 1分46秒 1min.46sec.



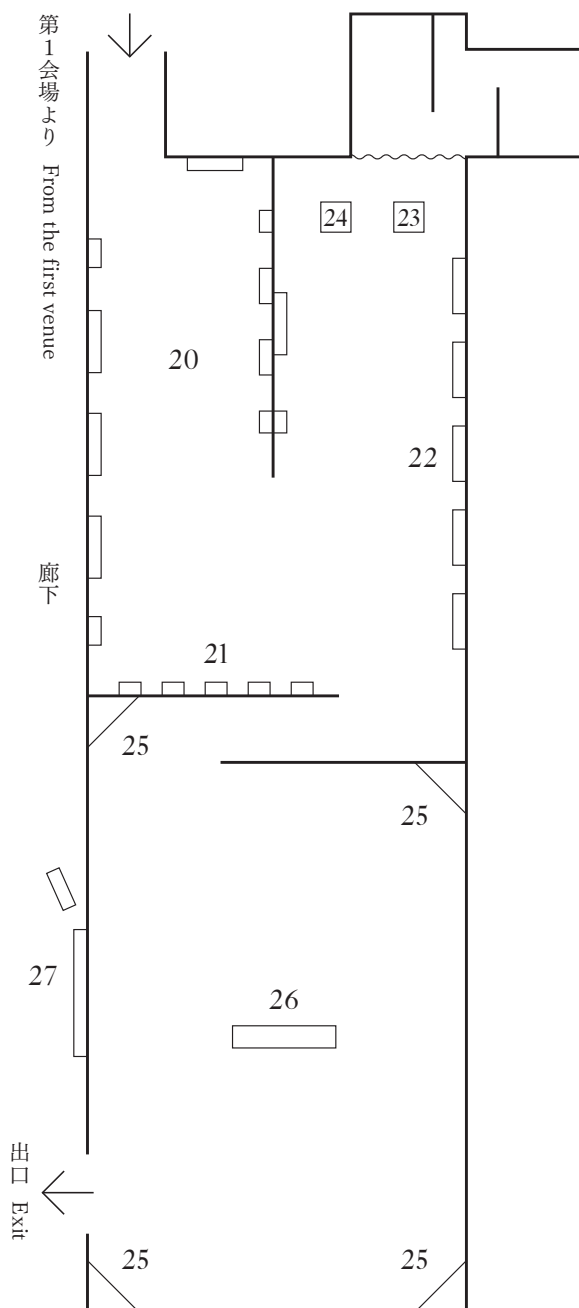
第2会場 | Second Venue

新宅加奈子 | SHINTAKU Kanako

- 20. I'm still alive
2019-23 | インクジェットプリント、サテン紙、アルミ複合板加工 |
inkjet print on satin paper, mounted on aluminum composite panel
51.5×72.8、72.8×145.6、145.6×103.0、59.4×42.0 4点、
103.0×72.8 2点、103.0×145.6 3点
-
- 21. Indication
2019 | インクジェットプリント、サテン紙、アルミ複合板加工 |
inkjet print on satin paper, mounted on aluminum composite panel
59.4×42.0 5点
-
- 22. skin
2024 | 人体で硬化させた絵の具、接着剤、木パネル |
paint hardened on the human body, adhesive on wooden panel
180.0×90.0 5点
-
- 23. shell
2024 | 人体で硬化させた絵の具、塗料、樹脂、布 |
paint hardened on the human body, coating, resin, fabric | 90.0×90.0×50.0
-
- 24. I'm still alive Live performance
2025 | 樹脂、絵の具、作家のDNA resin, paint, artist's DNA | 140.0×100.0×100.0
-

山下麻衣+小林直人 |
YAMASHITA Mai + KOBAYASHI Naoto

- 25. Around The Corner
2025 | インスタレーション、ライブ配信、テキスト Installation, live streaming, text |
サイズ可変 dimensions variable
-
- 26. 発芽を待つ Waiting for sprouting
2002 | ヴィデオ (CCDカメラによる映像)、ヴィデオ (パフォーマンス記録)、テキスト
video (CCD camera footage), video (Performance Recording) |
143時間44分、4分 143h 44min, and 4min.
-
- 27. 世界は どうしてこんなに美しいんだ How Beautiful The World Could Be
2019 | 4K ヴィデオ、LEDホイールライト付き自転車 4K
video, Bicycle with LED wheel lights | 15分 15min



第1期コレクション展

- ◆会期 2024年4月6日(土)～7月7日(日) 80日間
- ◆休館日 月曜日(4月29日〔月・祝〕、5月6日〔月・振休〕開館、4月30日〔火〕、5月7日〔火〕休館)
- ◆入場料 一般200円、大学生150円、65歳以上・高校生以下無料
- ◆入場者数 8,455人
- ◆担当学芸員 (常設展示室1)高見翔子、(常設展示室2)石田智子

- ◆ギャラリートーク
日時：6月22日(土) 14：00～
講師：(常設展示室1)高見翔子、(常設展示室2)石田智子
参加者数：16人
- ◆関連イベント等
石田尚志ワークショップ「フィルム(キネカリ)ワークショップ
～フィルムに直接絵を描いて不思議な映画をつくろう～」(p.34)



常設展示室1



常設展示室2

【常設展示室1】

うつしとる一光・時間・情報・動き Capturing the Intangible: Light, Time, Data and Motion

光、時間、情報、動き等、非物質的な要素をモチーフに扱う表現、新収蔵作品(*)3点含む23点を紹介。

No.	作家名	作品名	制作年	No.	作家名	作品名	制作年
1	山中信夫	マンハッタンの太陽	1980	17	宇佐美圭司	日々を往き返路を駆ける No.1	1983
2	山中信夫	東京の太陽	1980-81	18	鬼頭健吾	cosmic dust	2002
3	石田尚志	REFLECTION	2009	19	鬼頭健吾	cosmic dust gold	2008
4	高松次郎	No.190	1967	20	金山 明	作品	1958
5	高松次郎	No.371	1972	21	白髪一雄	地威星百勝将韓滔	1961
6	若林 奮	100粒の雨滴Ⅱ	1976-77	22	石田尚志	夏の絵	2010
*7	上田 薫	液体	1991頃	23	石田尚志	3つの部屋	2010
*8	上田 薫	皿の上の炎	1988			音楽のある部屋	
9	加納光於	稲妻捕り	1977				
10	加納光於	Illuminarion-1986	1986				
11	杉本博司	U. A. リトルネック、ニューヨーク	1976				
12	河原 温	NOV. 18, 1987	1987				
		TODAYシリーズ(1966-2013)より					
13	金氏徹平	Day Tripper (Sculpture of Photograph of Paint #4)	2010				
14	三島喜美代	Newspaper	1972-73				
15	宇佐美圭司	半島、ほとんどヘレンケラーの ように	1965				
16	宇佐美圭司	4人の同一化	1971				

【常設展示室2】

讃岐漆芸が見せる自然美 Natural Beauty Expressed by Sanuki Lacquer Art

讃岐漆芸に見る自然美の表現のテーマに、新収蔵作品(*)1点を含む、32点を紹介。

No.	作家名	作品名	制作年	No.	作家名	作品名	制作年
1	玉椿象谷	讃岐彫堆朱 手向山香盒	1852	23	伊賀寛泰	彩漆蒔罽飾箱 秋彩	1990
2	石井馨堂	堆朱香盒 葦蟹之図	1927	24	山下義人	清海文箱 遥	1978
3	鎌田稼堂	堆朱 クモ 香合		25	山下義人	蒔罽箱 水烟る	1987
4	音丸耕堂	堆朱南瓜文色紙箱	1949	26	山下義人	蒔罽色紙箱 波がさね	1988
5	山下楊哉	彫漆手筥 菜花文	1954	27	山下義人	蒔罽箱 くれない	2005
6	山下楊哉	彫漆飾筆筥 木立		28	山下義人	蒔罽箱 山笑う	2011
7	山下楊哉	椿 彫漆香盆		*29	山下義人	「山滴る」蒔罽箱	2014
8	磯井如真	乾漆蒔罽水指 瀬戸内海之圖	1949	30	大谷早人	籃胎蒔罽 文箱	1989
9	谷澤不二松	紫陽花之圖 彫漆手筥	1940頃	31	大谷早人	籃胎蒔罽 十二角食籠 蝶蜻蛉	2013
10	岡田章人	蒔罽雪柳之圖手筥	1947	32	藤田正堂	彫漆蒔罽流文盛器	2002
11	岡田章人	彫漆花鳥文筥	1965				
12	浅田真水	蒔罽草花文彫漆箱	1966				
13	真鍋光男	熊世 八角盆	1953頃				
14	真鍋光男	蘭の花 茶ひつ	1953頃				
15	明石朴景	蒔罽 待春 手爐	1960				
16	明石朴景	乾漆 火の山 平壺	1960				
17	大島唯史	深秋	1957				
18	真子実也	漆器 榜彫蒔罽 貝文 箱	1949				
19	高橋静道	草花図 彫漆硯文筥					
20	磯井正美	蒔罽存清 備讃瀬戸 箱	1982				
21	太田 備	籃胎 存清 短冊箱 連翹之圖	1987				
22	太田 備	籃胎蒔罽 双色紙箱 潮騒	1991				

第2期コレクション展

- ◆会期 2024年7月13日(土)～9月29日(日) 68日間
 ◆休館日 月曜日(7月15日〔月・祝〕、8月12日〔月・振休〕
 9月16日〔月・祝〕、9月23日〔月・振休〕開館、
 7月16日〔火〕、8月13日〔火〕、9月17日〔火〕、
 9月24日〔火〕休館)
 ◆入場料 一般200円、大学生150円、
 65歳以上・高校生以下無料
 ◆入場者数 9,876人
 ◆担当学芸員 毛利直子

- ◆ギャラリートーク
 日時：9月7日(土) 14:00～
 講師：毛利直子
 参加者数：20人



常設展示室1



常設展示室2

【常設展示室1】

駆ける女たち—コレクションに見る女性美術家たち Women Aspiring to Be Creative: Female Artists in the Collection

2024年に芥川(間所)紗織(1924～66)生誕100年を迎えることを記念し、紗織と同時代、及び現代に至る女性美術家の作品21点を紹介。

No.	作家名	作品名	制作年	No.	作家名	作品名	制作年
1	芥川(間所)紗織	神話・神々のタンジョウ	1956	17	曾谷朝絵	bathtub no.15	2001
2	赤穴桂子	スペースに於ける三つの物体	1956	18	やなぎみわ	My Grandmothers MINEKO	2002
3	福島秀子	作品 109	1959	19	近藤亜樹	おしるし	2020
4	桂 ゆき	作品	1961	20	近藤亜樹	きらきらひかるひと	2020
5	白髪富士子	作品 No.1	1961	21	谷澤沙和子	無名	2015
6	田中敦子	作品	1962		藤野可織		
7	草間彌生	Airmail Accumulation	1961				
8	藤川栄子	主婦と厨房	1954				
9	藤川栄子	稲束の構成	1958				
10	依田順子	Sky	1988				
11	イチハラヒロコ	いつも、気にしていた。 ずっと、探していた。	2006				
12	流 麻二果	辻を逸れる	2015				
13	蜷川実花	Acid Bloom	2003				
14	鴻池朋子	皮絵 オオカミ	2015				
15	橋爪 彩	Les amies	2016				
16	宮永愛子	waiting for awakening-wall clock-	2019				

※「プロジェクト Museum to Museums 芥川(間所)紗織 軌跡を回顧する旅へ」に参加

【常設展示室2】

工芸界の牽引者たち—明石朴景と鴨政雄を中心に Leaders of the craft world: Focusing on Akashi Bokkei and Kamo Masao

明石朴景と鴨政雄はじめ、昭和初期に胎動した鮮烈な工芸運動や戦後約10年間の香川における工芸家の仕事を29点の作品により紹介。

No.	作家名	作品名	制作年	No.	作家名	作品名	制作年
1	鴨 政雄	花瓶	1929	25	明石朴景	漆 海芋図 棚	1956
2	鴨 政雄	花器 蝶と月見草	1937	26	加島信夫	アマリス 小屏風	1955
3	鴨 政雄	壺 泥鰌の圖	1946	27	大島唯史	白峰華 篋	1952
4	鴨 政雄	香炉 むらさきつゆくさ	1949	28	窪田良次	牛の図	1958
5	鴨 政雄	トカゲと蝶紋花瓶	1952	29	真子実也	漆パネル ころみ	1962
6	鴨 政雄	彫金盛器 蝶と玉羊歯模様	1957頃				
7	鴨 政雄	彫金 蝶とバラ 花瓶	1958				
8	北原千鹿	葡萄文水指	1923				
9	北原千鹿	花燭台	1926				
10	北原千鹿	鉄香爐	1930				
11	北原千鹿	鹿文金彩花瓶	1936				
12	大須賀喬	黄銅花器	1930				
13	大須賀喬	鳳凰文銀小壺	1937				
14	山脇洋二	煙草入れ	1927				
15	山脇洋二	照明器	1931				
16	信田 洋	金象嵌 銀瓶	1958				
17	後藤 学	山葡萄 鍛鉄 置物	1971頃				
18	鴨幸太郎	喫煙具	1930				
19	鴨幸太郎	蛙と水草 香爐	1955				
20	磯井如真	草花文 乾漆花瓶	1930				
21	明石朴景	蒔罽 水仙華紋 篋	1947				
22	明石朴景	蒔罽 紅梅紋 篋	1948				
23	明石朴景	雕漆 菖蒲華紋 篋	1952				
24	明石朴景	漆 松樹 屏風	1954				

第3期コレクション展

- ◆会期 2024年10月2日(水)～12月26日(木) 74日間
- ◆休館日 月曜日(10月14日[月・祝]、11月4日[月・振休]開館、10月15日[火]、11月5日[火]休館)
- ◆入場料 一般200円、大学生150円、65歳以上・高校生以下無料
- ◆入場者数 11,614人
- ◆担当学芸員 石田智子

- ◆ギャラリートーク
日時：10月6日(日) 14:00～
講師：石田智子・キュレたま7名
参加者数：33人(ライブ配信視聴者14名含む)



常設展示室1



常設展示室2

【常設展示室1】

キュレたま 2024 企画「カラーダンシング?!—13歳が選んだ時をかけるアートたち」

Color Dancing?: Time-Traveling Art Selected by 13-Year-Olds

中学生を対象に公募したキュレーター(学芸員)のたまご(略して「キュレたま」)の企画による展覧会。同趣旨の展覧会は2018年以来、3年に1度のペースで開催しており、今回は3回目となる。28点の作品を紹介。

No.	作家名	作品名	制作年	No.	作家名	作品名	制作年
1	北代省三	レーダー	1948	19	村上 隆	DOB ジャンプ!	1999
2	デイヴィッド・ホックニー	太陽(「ウェザーシリーズ」より)	1973	20	村上 隆	キラーピンク	2003
3	デイヴィッド・ホックニー	雨(「ウェザーシリーズ」より)	1973	21	村上 隆	ブカブカ	1999
4	山口 晃	大山崎交通乃圖	2008	22	村上 隆	ンチャ!!	1999
5	タイガー立石	哀愁列車	1964	23	村上 隆	シャンピニオン	2002
6	できやよい	カッペリ	2003	24	篠原有司男	女の祭り	1969
7	饅頭	アダムとイヴ	1967	25	横尾忠則	第6回東京国際版画ビエンナーレ	1968
8	ヤノベケンジ	ミニ・アトムスーツ	2003-13	26	横尾忠則	能 薨の会	1969
9	松井えり菜	エブリデー審判デイス	2020	27	横尾忠則	文案 椿説弓張月	1971
10	堂本尚郎	絵画 1961-22	1961	28	横尾忠則	X'MAS PARADISE	1971
11	奈良美智	Milky Lake	2001				
12	宮永愛子	ポストー景色	2010				
13	吉村益信	WING WITH MIRRORS	1966-67				
14	松本陽子	ガリラヤの海	1990				
15	岡本太郎	生成	1961				
16	イケムラレイコ	Pacific Red	2006				
17	森本紀久子	作品3	1964				
18	村上 隆	そして、そしてそして (赤・ピンク・水色・黄・青)	1999				

【常設展示室2】

「讃岐漆芸の三技法 — 蒔醬・彫漆・存清」 The Three Techniques of Sanuki Lacquerware Art: Kinma, Choshitsu, and Zonsei

讃岐漆芸の三技法「蒔醬」、「彫漆」、「存清」を、その技法が施された30点により、今日まで歴史を紐解いて紹介。

No.	作家名	作品名	制作年	No.	作家名	作品名	制作年
1	玉椿象谷	存清香盒	1842	17	音丸耕堂	彫漆月之花手箱	1942
2	玉椿象谷	狭貫彫堆黒 松ヶ浦香合	1851	18	音丸耕堂	彫漆蘇鐵文 食籠	1948
3	玉椿象谷	存清 蓮文盆		19	音丸耕堂	彫漆八仙花 香合	1950
4	玉椿象谷	印笥		20	明石朴景	雕漆 菖蒲華紋筐	1952
5	玉椿象谷	堆朱紅葵饌合	1852	21	安本一夫	蒔銀匣 萌	
6	玉椿象谷	模古製 黒漆菓盆	1851	22	北岡省三	彫漆短冊箱 碧麗	1995
7	玉椿象谷	堆黒 張成 香合	1853頃	23	石原雅真	彫漆小筆筒 花苑	2004
8	磯井如真	瑞鳥蒔醬香盆	1947頃	24	藤川黒斎	存清花文鞍	
9	磯井正美	蒔醬存清 林間爽風 箱	1987	25	藤川黒斎	存清雲盆	
10	大谷早人	藍胎蒔醬 文箱	1989	26	磯井如真	存清六角香盆	1942頃
11	太田加津子	乾漆蒔醬 水指 独楽文	2002	27	香川宗石	讃岐漆存清花蝶紋色紙箱	1965頃
12	山下義人	蒔醬箱 くれない	2005	28	太田 備	藍胎 存清 短冊箱 連翹之圖	1987
13	佐々木正博	蒔醬草花文八角箱	2011	29	辻 孝史	乾漆存清八角箱「三兄妹」	2020
14	石井馨堂	紅花緑葉 桐鳳凰之圖 香盒	1928	30	磯井如真	宝玉筆筒	1947
15	森 象堂	狭貫彫 紅花緑葉茶量 福自天来之圖	1931				
16	磯井如真	蜻蛉之圖 香盒	1937				

第4期コレクション展

- ◆会期 2025年1月7日(火)～3月30日(日) 70日間
常設展示室1では、3月8日(土)から30日(日)は「第42回日本伝統漆芸展」を開催
- ◆休館日 月曜日(1月13日[月・祝]、2月24日[月・振休]開館、1月14日[火]、2月25日[火]休館)
3月6日(木)、7日(金)は展示替えのため休室。
- ◆入場者料 一般200円、大学生150円、65歳以上・高校生以下無料
- ◆入場者数 6,000人(第40回日本伝統漆芸展入場者数を含む)
- ◆担当学芸員 (常設展示室1)尾形絵里子、(常設展示室2)川西弘一

- ◆ギャラリートーク
日時：3月1日(土) 14:00～
講師：(常設展示室1)尾形絵里子、(常設展示室2)川西弘一
参加者数：20人



常設展示室1



常設展示室2



(チラシ/伝統漆芸展)

【常設展示室1】

境界を超える写真(イメージ) Images Transcending Boundaries

マン・レイらによる17点の作品を通じて、写真が記録手段の枠を超え、芸術表現として発展してきた歴史を振り返った。

No.	作家名	作品名	制作年	No.	作家名	作品名	制作年
1	マン・レイ	埃の培養	1920	10	河口龍夫	陸と海	1970/1983
2	リチャード・ハミルトン	一体何が昨日の家庭をこれほどに変え、魅力的あるものにしたのか	1991	11	山中信夫	パリのカメラ・オブスクラ	1982
3	ロバート・ラウシェンバーグ	兆候	1970	12	春木麻衣子	clear sky	2006
4	アンディ・ウォーホル	マリリン・モンロー	1967	13	蛭川実花	Acid Bloom	2003
5	郭 徳俊	フォードと郭	1974	14	やなぎみわ	Series of Fairy Tale Untitled IV	2005
6	郭 徳俊	クリントンIIと郭	1997	15	野口里佳	鳥を見る	1997
7	郭 徳俊	オバマと郭	2009	16	西野 達	Life's Little Worries in Berlin	2007
8	森村泰昌	肖像(ヴァン・ゴッホ)	1985	17	潘 逸舟	タイム・アンド・スペース/ イサム・ノグチ、1989年作	2022
9	大辻清司	eyewitness	1955-70				

第42回日本伝統漆芸展

日本を代表する工芸として、永い歴史をもつ漆芸。日本伝統漆芸展は、伝統の継承と現代生活への応用を目指し、日本伝統工芸展の漆芸部会展として開かれている。第42回となる本展は、東京・輪島・高松の3会場を巡回し、受賞作7点を含む入選作品全82点を展示した。

- ◆会期 2025年3月8日(土)～3月30日(日)
- ◆主催 高松市美術館、公益社団法人日本工芸会
- ◆後援 文化庁、香川県、香川県教育委員会、朝日新聞社、公益財団法人 岡田茂吉美術文化財団、四国新聞社、NHK高松放送局、KSB瀬戸内海放送、OHK岡山放送、RNC西日本放送、RSK山陽放送、TSCテレビせとうち
- ◆入場者数 2,169人
- ◆列品解説
日時：3月8日(土) 14:00～、3月22日(土) 14:00～
講師：(8日)北岡道代(日本工芸会正会員)、(22日)松原弘明(日本工芸会正会員)
参加者数：(8日)25人、(22日)22人

【常設展示室2】

香川の人間国宝一技の伝承 Kagawa's Living National Treasures: Passing Down Techniques

香川県が輩出した6人の人間国宝(重要無形文化財保持者)の名品31点を通じて、讃岐漆芸の魅力を探った。

No.	作家名	作品名	制作年	No.	作家名	作品名	制作年
1	音丸耕堂	堆朱板文庫 昆虫之圖	1928	16	磯井正美	蒔罨 清明 盛器	1988
2	音丸耕堂	彫漆七面鳥香盆	1928	17	磯井正美	蒔罨 むらさき 箱	1990
3	音丸耕堂	彫漆食籠	1932	18	磯井正美	蒔罨 橘花創成盛器	2006
4	音丸耕堂	彫漆菓子盆	1932	19	太田 儔	木地蒔罨 食籠	1970
5	音丸耕堂	彫漆椿文手箱	1943	20	太田 儔	籃胎蒔罨 食籠 朱と白	1990
6	音丸耕堂	彫漆草花文様八陸食籠	1957	21	太田 儔	籃胎箱 波文	1990
7	音丸耕堂	彫漆水仙手箱	1975	22	太田 儔	籃胎蒔罨 盛器 チェリーポート	1998
8	磯井如真	乾漆 花瓶	1937	23	太田 儔	籃胎蒔罨 茶箱 春風	1998
9	磯井如真	堆黒 香盆 麒麟之図	1946	24	山下義人	蒔罨箱 水煙る	1987
10	磯井如真	蒔罨 香盆 蜜竹之図	c.1955	25	山下義人	蒔罨色紙箱 波がさね	1988
11	磯井如真	彫漆 合唱之図 硯箱	1954	26	山下義人	蒔罨箱 くれない	2005
12	磯井如真	蒔罨 筆筥 銀葉アカシヤ之図	1957	27	山下義人	蒔罨箱 山笑う	2011
13	磯井如真	蒔罨 干菓子盆 亀鶴松竹梅之図	1963	28	山下義人	「山滴る」蒔罨箱	2014
14	磯井正美	蒔罨 陽炎 丸盆	1972	29	大谷早人	籃胎蒔罨 文箱	1989
15	磯井正美	蒔罨 石畳 箱	1987	30	大谷早人	籃胎蒔罨箱 網代文	1997
				31	大谷早人	籃胎蒔罨 十二角食籠 蝶蜻蛉	2013

(1) 新収蔵作品

収集対象を香川の美術と戦後の美術に大きく分け、香川のアートでは伝統的な漆工と金工に重点を置いて収集し、戦後の美術としては、油彩画と彫刻を収集することとし、国内作家については、1945年以降の現代美術に的を絞り、外国作家は日本の戦後美術史の流れに多大な影響を与えた20世紀初頭から現代にいたる作品を版画で系統的に収集する。

新収蔵作品点数						
区分	洋画	日本画	彫刻	工芸	書	計
購入	4	—	2	1	—	7
寄贈	4	—	—	11	—	15
計	8	—	2	12	—	22

収蔵作品総点数						
区分	洋画	日本画	彫刻	工芸	書	計
購入	666	24	244	398	12	1344
寄贈	179	22	33	214	4	452
計	845	46	277	612	16	1796

令和4(2022)年度新収蔵作品一覧

小川 信治

《ブランコの絶好のチャンス》

2013年

油彩・カンヴァス

80.5 × 65.4cm

購入



片山 真理

《bystander #024》

2016年

Cプリント、装飾された額

120 × 90cm / ed.1/3

購入



片山 真理

《bystander #004》

2016年

Cプリント、額

42 × 56cm / ed.1/3

購入



中西 夏之

《作品・5月のためのドローイング》

1984年

鉛筆・紙

各44 × 52cm 6点

購入



富井 大裕

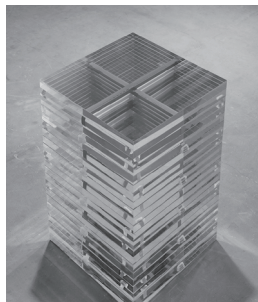
《board band board》

2013年

アクリル板、ポリプロピレンバンド

60 × 40 × 40cm

購入



富井 大裕

《board paper board(half origami)》

2019年

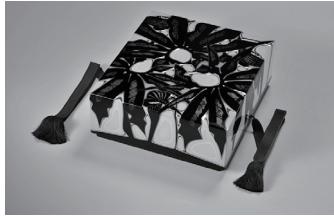
アクリル板、折り紙

42 × 45 × 45cm

購入



音丸 耕堂
《彫漆浦島草文手箱》
1954年
漆
11.5×30.2×27cm
購入



小川 信治
《ヒゲマリオン1》
2023年
リトグラフ・紙
56.3×45.2cm
寄贈



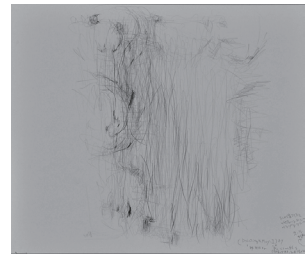
小川 信治
《街歩き》
2023年
アクリル・紙
170×278cm
寄贈



竹村 京
《Playing Cards on Building in N. City》
2019年
絹糸、合成繊維、カラー印刷・布
100×144cm
寄贈(寄贈者:株式会社バッファロー株式会社 代表取締役 牧寛之 様)



中西 夏之
《作品・5月のためのドローイング》
1984年
鉛筆・紙
各44×52cm 14点
寄贈



明石 朴景
《樹間寂寥》
1976年
漆
180.7×161.4cm
寄贈



明石 朴景
《乾漆壺 麗花》
1988年
漆
23.9×21.4×31.3cm
寄贈



(1) 新収蔵作品(つづき)

明石 朴景
《乾漆 海賊文壺》
1991年頃
漆
39.5 × 25.4 × 28.8cm
寄贈



明石 朴景
《菖蒲 小屏風》
制作年不明
漆
36.5 × 185.6 × 1.5cm
寄贈



磯井 正美
《蒔番 波文丸盆》
1958年頃
漆
38.5 × 3.8cm
寄贈



磯井 正美
《季星 彩漆 盛器》
1963年
漆
39.5 × 9.4cm
寄贈



磯井 正美
《漆絵 ハロン湾旅情 漆額》
2008年
漆
28 × 71cm
寄贈



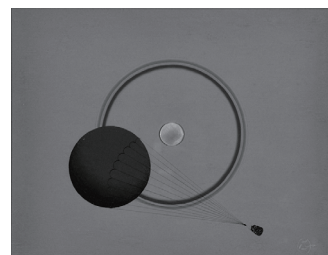
磯井 正美
《漆絵 ハロン湾曙光 漆額》
2008年
漆
28 × 71cm
寄贈



磯井 正美
《蒔番 時不可失 如意》
2010年頃
漆
4.9 × 52.3 × 10.6cm
寄贈



磯井 正美
《蒔番 青い気球》
2012年
漆
28 × 35.5cm
寄贈



大須賀 喬

《蝶文象嵌鉄小篋》

1966年

鉄、胡桃材

15.9×21.6×14.5cm

寄贈



(2) 寄託作品

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	規格
1	山下 義人	鱗翅文 蒔絵箱	1978	漆	15×14×24cm

（3）貸出作品

展覧会名／貸出先／貸出期間／作家・作品名

**企画展「中野裕介／パラモデル展
よろぼう少年、かなたの道をゆく▷▷▷《俊徳丸伝説
であそぶ》** 東大阪市民美術センター 2024/4/25 ～ 2024/5/12

中野裕介／パラモデル《俊徳丸の模型(よろぼう少年)》
中野裕介／パラモデル《かしくい犬の模型(よろぼう犬)》

特別展「ユーモアーおかしみの表現に潜むものー」 徳島県立近代美術館 2024/4/27 ～ 2024/6/30

束芋《につぼんのちっちゃい台所》
束芋《無題》
中村 宏《聖火千里行》
村上 隆《Red Rope》
村上 隆《Game》

吉田克朗展ーものに、風景に、世界に触れる 神奈川県立近代美術館 葉山 2024/4/20 ～ 2024/6/30
埼玉県立近代美術館 2024/7/13 ～ 2024/9/23

吉田克朗《Cut-Off 8》

**Yasumasa Morimura and Cindy Sherman:
Masquerades** M+ ミュージアム(香港) 2024/12/14 ～ 2025/5/5

森村泰昌《だぶらかし(マルセル)》

**ART OF THE REAL アート・オブ・ザ・リアル 時代を超
える美術ー若冲からウォーホル、リヒターへー** 鳥取県立美術館 2025/3/30 ～ 2025/6/15

白髪富士子《作品》
照屋勇賢《You-I Flat Work Large》

(4) 図書

書籍					
区分	図書	雑誌	逐次 刊行物	図録	計
購入	56	45	0	11	112
寄贈	51	83	155	259	548
計	107	128	155	270	660

(1) 講演会

- ◆記念対談「80年代ロボットアニメの隆盛とガンダムの展開」
※特別展「日本の巨大ロボット群像—巨大ロボットアニメ、そのデザインと映像表現」関連(p.4)
- ◆対談①「～電磁車輪誕生～コトディーン製作秘話を語る」
※特別展「日本の巨大ロボット群像—巨大ロボットアニメ、そのデザインと映像表現」関連(p.4)
- ◆対談②「～コトディーンの世界～仮想現実ストーリーと郷土史」
※特別展「日本の巨大ロボット群像—巨大ロボットアニメ、そのデザインと映像表現」関連(p.4)
- ◆記念講演会「谷川俊太郎の絵本の世界」
※特別展「谷川俊太郎 絵本★百貨展」関連(p.6)
- ◆記念講演会「巨匠たちの競演—浮世絵は知れば知るほど面白い！—」
※特別展「五大浮世絵師展」関連(p.8)
- ◆記念対談「江戸絵画入門編」
※特別展「五大浮世絵師展」関連(p.8)
- ◆アーティストトーク
※特別展「高松コンテンポラリーアート・アニュアルvol.12」関連(p.10)

アートアドバイザー講座

原久子(当館アートアドバイザー)を講師とした講座「アートアドバイザー」を開講した。

対象：高校生以上
場所：1階講堂
受講料：無料

	開催月日	参加者数
vol.3 映像とメディアアート ～近年収蔵したコレクションを中心に	5月11日(土)	35
vol.4 美術館ってどんなところ？	6月8日(土)	15
vol.5 もじとことばのアート	8月10日(土)	17
vol.6 浮世絵と娯楽	10月26日(土)	22
vol.7 もうすぐ瀬戸内国際芸術祭2025！ ①15年間の軌跡 ※ゲスト：今瀧哲之(瀬戸内国際芸術祭実行委員会事務局)	12月21日(土)	55
vol.8 もうすぐ瀬戸内国際芸術祭2025！ ②今回のみどころ ※ゲスト：今瀧哲之(瀬戸内国際芸術祭実行委員会事務局)	3月15日(土)	58
		計202人



映像とメディアアート～近年収蔵したコレクションを中心に



もじとことばのアート

(2) 鑑賞・ワークショップ

◆フィルム(キネカリ)ワークショップ ～フィルムに直接絵を描いて不思議な映画をつくろう～

フィルムに直接絵を描いて、皆で映画を作り、最後に出来上がった作品を上映した。

※「コレクション展1」関連

日時：5月19日(日) 13:30～15:00

講師：石田尚志(美術家)

参加費：無料

対象：5歳～大人

場所：3階講座室

参加者数：11人



◆じぶんでつくる星座

ドーム型の箱に星を描いて穴を開け、オリジナルの星座を作り、最後に暗闇で光を通して、壁に星座を映した。

日時：7月27日(土)①10:30～12:00 ②14:00～15:30

講師：上野あずさ(美術家)

参加費：600円(材料費含む)

対象：4歳～小学2年生

場所：3階講座室

参加者数：延べ30人



◆光るアクリルスタンドをつくろう

透明アクリル板を使って絵を描き、LEDライトで光らせて、アクリルスタンドを作った。

日時：8月17日(土)①10:00～12:00 ②14:00～16:00

講師：田淵力(造形作家)

参加費：1,500円(材料費含む)

対象：小学生

場所：3階講座室

参加者数：延べ31人



◆賢作マジックゴーゴー ～みんなと一緒に歌作ろ～

参加者からテーマに沿ってことばのかけらを集めて組み合わせ、その場でメロディをつけて参加者全員で歌った。

※「谷川俊太郎 絵本★百貨展」関連

日時：9月7日(土) 11:00～12:00

講師：谷川賢作(音楽家)

ゲスト：鈴木絵麻(歌手)

参加費：無料

対象：小学生以上

場所：1階講堂

参加者数：25人



◆自分のゴーストを作ろう！

2枚重ねた不織布を広げ、寝転がって自分の全身を形どり、ホッチキスでとめた。

それを吊って、中に自分の願いや気持ちを書いた紙を入れて、自分のゴーストを作った。

日時：10月6日(日) 10:00～11:30

講師：千葉尚実(美術家)

参加費：500円

対象：小学生以上

場所：3階講座室

参加者数：9人



(2) 鑑賞・ワークショップ(つづき)

◆かきかさうふふ！

大きなクラフト紙を使って、参加者がなりたいものに変身した。
 ※「美術館でハロウィン！」関連
 日時：10月20日(日)①10:30～12:00 ②14:00～15:30
 講師：モールエール腫(芸術士*)
 参加費：500円
 対象：4歳～小学2年生
 場所：3階講座室
 参加者数：延べ20人



◆ぼくら“由一”ルドレン！

高橋由一の名作《鮭》を切り貼りし、新たに筆をたすことで絵を制作し、ランチギャラリーに展示した。
 日時：10月27日(日) 13:30～14:30
 講師：松井えり菜(美術家)
 参加費：無料
 対象：小学生以上
 場所：3階講座室
 参加者数：20人



◆親子ワークショップ「きってみる！はってみる！」

作品《Layered Lights》をプリントした透明フィルムを好きな形に切り貼りして模様を作った。
 完成したものは懐中電灯やスマホのライトで照らし、壁や天井に表れる模様を見て楽しんだ。
 日時：3月2日(日) ①13:30～14:30 ②15:30～16:30
 講師：藤安淳(写真家)
 参加費：1,000円(材料費含む)
 対象：2歳以上
 場所：3階講座室
 参加者数：9人



こども+(プラス)

子どもをはじめ、来館者が気軽にアートを楽しむことのできる空間として、リニューアルにより新設された「こども+(こどもアートスペース)」において、アートプログラムを開催。

◆イベント

「ふらっとアート」
 日時：毎週木・土曜日 12:00～16:00

	開催期間	参加者数
1.進め！ダンボールロボット	4月10日(土)～6月16日(日)	742
2.すきなことばとかたちでえほん★をつくろう	7月20日(土)～9月16日(月・祝)	3,114
3.ひらひらオバケをつくろう	10月1日(火)～10月31日(木)	280
4.窓から見える春夏秋冬をえがこう	10月12日(土)～12月8日(日)	641
5.グリーティングカードをつくろう！	12月4日(水)～1月13日(月・祝)	1,390
6.わたしのりんかくをつくろう	1月25日(土)～3月16日(日)	425
7.はるのおでかけバックをつくろう♪	3月18日(土)～3月30日(日)	500

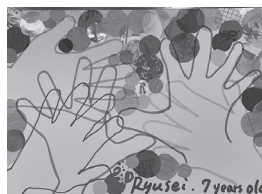
計7,092人



2



5



6



7

(3) パフォーマンス・その他

◆エントランス・ミニコンサート「高らかに歌え！巨大ロボット賛歌」

※特別展「日本の巨大ロボット群像」関連
 日時：5月18日(土) 13:30～14:00
 出演：大山晃(うた)、大山まゆみ(ピアノ)
 場所：1階エントランスホール
 参加者数：130人



◆飯川雄大「デコレータークラブ—新しい観客」(貸出)

日時：6月22日(土)～9月22日(日)
 場所：1階エントランスホールほか
 参加者数：9人



◆飯川雄大「デコレータークラブ—新しい観客」

日時：6月22日(土)～9月22日(日)
 場所：1階エントランスホール
 参加者数：1,301人



◆絵本★読み聞かせ会

※特別展「谷川俊太郎 絵本★百貨展」関連
 日時：7月21日(日)、9月3日(火) 各日10:30～11:15
 講師：高松 本とおはなしの部屋
 場所：2階展示室
 参加者数：延べ94人



◆手話による絵本★読み聞かせ会

※特別展「谷川俊太郎 絵本★百貨展」関連
 日時：8月1日(木)、8月17日(土) 各日①14:00～14:30、②14:30～15:00
 講師：近藤龍治(香川県聴覚障害者協会理事長)
 場所：2階展示室
 参加者数：延べ279人



◆エントランス・ミニコンサート「動物たちのカーニバル」

※特別展「谷川俊太郎 絵本★百貨展」関連
 日時：8月3日(土) 13:30～14:15
 出演：香川大学ウィンド・アンサンブル
 協力：香川大学
 監修：青山夕夏
 場所：1階エントランスホール
 参加者数：208人



◆記念コンサート「たにけん sings しゅんたる

～かわいい歌からおもしろごわい歌、そして泣ける歌まで～
 ※特別展「谷川俊太郎 絵本★百貨展」関連
 日時：9月7日(土) 14:00～15:10
 出演：谷川賢作(音楽家)
 ゲスト：鈴木絵麻(歌手)
 場所：1階エントランスホール
 参加者数：240人



(3) パフォーマンス・その他(つづき)

◆出張美術館「江戸の浮世絵入門編」

工作ワークショップをしたほか、講演会を開催した。

※特別展「五大浮世絵師展—歌麿、写楽、北斎、広重、国芳」関連

日時：9月22日(日) 10:30～12:00(ワークショップ)、13:30～15:00(講演会)
9月29日(日) 10:30～12:00(ワークショップ)、13:30～15:00(講演会)

場所：川島コミュニティセンター(9月22日)、牟礼コミュニティセンター(9月29日)

講師：石田智子(当館学芸員)

参加費：無料

参加者数(9月22日)：9人(ワークショップ)、15人(講演会)

参加者数(9月29日)：11人(ワークショップ)、28人(講演会)



◆美術館でハロウィン！ ハロウィン・フォトスポット

中2階展示ロビーにフォトスポットを設置したほか、子どもで工作プログラム「ひらひらオバケをつくろう」を提供、10月20日(日)はワークショップ「かさかさ うふふ！」を実施した。

会期：10月1日(火)～10月31日(木)

協力：高松市立紫雲中学校美術部、高松市立玉藻中学校美術部、高松市立協和中学校美術部、高松市立下笠居中学校美術部、高松市立木太中学校美術部

場所：中2階展示ロビー



◆五大浮世絵師展 SNS特典

※特別展「五大浮世絵師展—歌麿、写楽、北斎、広重、国芳」関連

会期：10月12日(土)～12月8日(日)

参加者数：59人

◆謎とき！美術館からの挑戦状！

展覧会の作品をヒントに美術館から出された謎を示したワークシートを設置し、謎を解明できた参加者にはオリジナルのグッズをプレゼントした。

※特別展「五大浮世絵師展—歌麿、写楽、北斎、広重、国芳」関連

会期：10月12日(土)～12月8日(日)

参加費：無料

場所：2階展示室

参加者数：



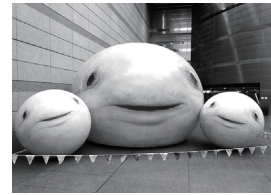
◆特別展示「松井えり菜ウーパーパーパルーンズ」

会期：10月24日(木)～12月8日(日)

出品：松井えり菜

場所：1階エントランスホール

参加者数：2,057人



◆エントランス・ミニコンサート「浮世絵に魅せられた作曲家たち」

※特別展「五大浮世絵師展—歌麿、写楽、北斎、広重、国芳」関連

日時：11月30日(土) 13:30～14:15

出演：山下裕理(サクソフォン)、北野あゆな(クラリネット)、坂本実優・小倉莉子・石上菜々子(ピアノ)

協力：香川大学

監修：青山夕夏

場所：1階エントランスホール

参加者数：96人



◆特別企画「藤安淳展 かさなるひかり」

会期：1月21日(火)～3月16日(日)

出品：藤安淳(写真家)

場所：1階図書コーナー



◆新宅加奈子ライブパフォーマンス

※特別展「高松コンテンポラリーアート・アニヴァーサリーvol.12」関連
日時：2月1日(土) 16:30～18:30
出演：新宅加奈子(出品作家)
場所：2階展示室
参加者数：56人



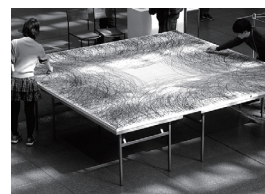
◆國久真有ライブペインティング

※特別展「高松コンテンポラリーアート・アニヴァーサリーvol.12」関連
日時：2月1日(土)～2月11日(火・祝)
講師：國久真有(出品作家)
場所：1階エントランスホール
参加者数：延べ220人



◆國久真有：参加型プログラム「WIT-WIT DRAWING」

※特別展「高松コンテンポラリーアート・アニヴァーサリーvol.12」関連
会期：2月1日(土)～3月16日(日)
場所：1階エントランスホール
参加者数：延べ2,899人



◆エントランス・ミニコンサート「うたのりんかく」

※特別展「高松コンテンポラリーアート・アニヴァーサリーvol.12」関連
日時：2月22日(土)13:30～14:00
出演：大山晃(バリトン)、青木香瑠(箏)、大山まゆみ(ピアノ)
場所：1階エントランスホール
参加者数：68人



◆今日の夕陽を振り返る会

※特別展「高松コンテンポラリーアート・アニヴァーサリーvol.12」関連
日時：3月15日(土) 17:15～18:30
出演：國久真有(出品作家)等
場所：2階展示室
参加者数：40人



エントランス活用事業(公募)

エントランスホールの活用を図り、来館者に気軽に文化芸術に触れてもらうため、コンサートやダンス公演等で同ホールを利用する団体を募集した。

	開催日	主催団体	参加者数
1. 佐藤采香ユーフォニアムリサイタル	9月8日(日)	E-tree production 香川支部	117
2. 新作オペラ 扇の的 青葉の笛編 ～ノ谷の合戦、屋島へ～ レクチャーコンサート	9月23日(月・振休)	オペラ扇の的実行委員会	234
3. 古楽祭ガラ・コンサート	9月28日(土)	たかまつ国際古楽祭実行委員会	257
4. お話と絵でつづる展覧会の絵コンサート	9月29日(日)	Crescent	138
5. ダンスカンパニーウィズとともに創る アートなひととき。	10月5日(土)	ダンスカンパニーウィズ	118
6. museum concert vol.2	10月6日(日)	MGKアーティスト企画	112
7. ファッションコラボレーション2024 ファッションショー	12月22日(日)	吉田愛服飾専門学校	342
8. 絵と響き合う音たち	1月26日(日)	三杯企画	85

計1,403人

(3) パフォーマンス・その他(つづき)

高松市美術館☆キュレたま2024

キュレーターのためご(略してキュレたま)を募集し、当館学芸員によるレクチャー、参加者でのミーティングを経て常設展を企画する。令和6年度は「第3期常設展 キュレたま2024企画『カラーダンシング?!—13歳が選んだ時をかけるアートたち』(p.25)を企画し、ギャラリートークやイベント等も開催した。

日時：(レクチャー、ミーティング) 4月21日(日)、5月19日(日)、6月9日(日)、7月28日(日)、8月18日(日)
参加費：無料
対象：2024年4月1日時点で満12歳～17歳の人
参加者数：7人



美術館の日

平成21年度より美術館の開館記念日(1988年8月6日)に近い8月第1土曜日を「美術館の日」と定め、展覧会の観覧料を無料にしたほか、「ふらっとアート」やミニコンサートなど、市民が気軽に美術館を訪れて楽しめる催しを開催。

8月5日(土)	参加者数
特別展	2,081
コレクション展	1,564
鑑賞カード	1,070
ふらっとアート	471
ミニコンサート	208
計5,469人	



(4) 学校との連携

◆高松短期大学前期授業「芸術文化」(全15回)

日時：4月6日(木)～7月22日(土) 9:00～10:30
参加者：高松短期大学ビジネスデザイン科学生履修者
場所：高松大学、美術館

◆香小研高松支部図画工作部会

日時：7月22日(水) 9:30～12:00
講師：当館学芸員
対象：香小研高松支部図画工作部会 会員
場所：1階講堂ほか
参加者数：61人

◆香川県中学校教育研究会美術部会高松支部「夏季実技研修会」

日時：7月26日(月)
参加者：市立中学校美術教員
場所：美術館講堂・展示室
参加者数：24人

◆おでかけ美術館

※特別展「五大浮世絵師展—歌麿、写楽、北斎、広重、国芳」関連
作品を学校に持参して鑑賞プログラムの展開や、イベントに関連した作品制作をした。
講師：石田智子(当館学芸員)

学校	開催月日	参加者数
円座小学校	9月24日(火)	250
亀阜小学校	9月26日(木)	200
川岡小学校	9月27日(金)	55
牟礼南小学校	9月30日(月)	65
第一小学校	10月4日(金)	103
花園小学校	10月7日(月)	42
古高松小学校	10月16日(水)	148
牟礼小学校	10月18日(金)	51
屋島小学校	10月21日(月)	65
屋島西小学校	10月22日(火)	46

計915人



◆ハロウィン・フォトスポットの制作及び展示

※「美術館でハロウィン！」関連

日時：9月1日(金)～10月31日(火)

参加者：高松市立紫雲中学校美術部、高松市立玉藻中学校美術部、高松市立協和中学校美術部、
高松市立下笠居中学校美術部、高松市立木太中学校美術部

場所：各学校・市美術館

参加者数：107人



◆中学生職場体験学習

期間：9月～11月

参加者数：延べ13人(5校)

美術館学習

サンクリスタル学習参加校のうちで、引き続き美術館での学習を希望する小学校を受け入れ(サンクリスタル高松-美術館間の交通費を負担)、展覧会の団体鑑賞や施設見学、アートゲームなどの活動を行った。

(参考：サンクリスタル学習以外の美術館学習 参加校57校、参加者数1,618人)

参加校	開催月日	参加者数(引率者含む)
牟礼北小学校	6月5日(水)	72
東植田小学校	6月13日(木)	6
鶴尾小学校	6月19日(水)	35
弦打小学校	6月26日(水)	79
植田小学校	7月2日(火)	18
川岡小学校	7月4日(木)	57
木太北部小学校	7月5日(金)	70
大野小学校	9月18日(水)	87
高松第一小学校	9月25日(水)	112
三溪小学校	11月13日(水)	84
下笠居小学校	11月15日(金)	40
多肥小学校	11月21日(木)	107
多肥小学校	11月26日(火)	112
木太南小学校	11月28日(木)	108
国分寺北部小学校	12月13日(金)	105
檀紙小学校	1月10日(金)	115
計16校		1,207人

(5) 出前講座

開催月日	場所	講師(当館学芸員)	参加者数
5月13日(月)	香川大学付属病院	石田智子・福田千恵	6
6月10日(月)	ウェルビー 高松センター	坂東美穂	28
7月9日(火)	高松市社会福祉協議会 香南老人介護センター	坂東美穂・片山由奈	18
11月1日(金)	ヒトトコ	坂東美穂・片山由奈	12
12月18日(金)	高松市高齢者居場所 和みの部屋	坂東美穂・片山由奈	7
1月8日(水)	高松市社会福祉協議会 老人介護支援センター	坂東美穂・片山由奈	13
1月14日(火)	高松市社会福祉協議会国分寺 老人介護支援センター	坂東美穂・片山由奈	15
2月5日(水)	高松市子育て支援課	坂東美穂・片山由奈	50
2月19日(水)	高松市生涯学習センター(まなびCAN)	坂東美穂・片山由奈	13

計162人



(6) インターンシップ・ボランティア

◆香川県立高松工芸高等学校インターンシップ

日程：7月3日(水)～7月5日(金)
参加者数：8人

◆高松市役所インターンシップ

日程：8月15日(木)～8月16日(金)、8月19日(月)～8月21日(水)
参加者数：2人

◆せとうち観光専門職短期大学臨地実務実習

日程：10月30日(水)～11月22日(金)
参加者数：1人

◆高松市新規採用職員研修会

日程：11月1日(金)
参加者数：47人

博物館実習

博物館学芸員資格取得希望者を対象に、施設・展覧会・他館の見学、講義(美術館と作品収集、作品及び二次資料の保管理、教育普及、ボランティア活動)、実習(作品取り扱い、ワークショップ補助)を毎年8月初旬に行っている。

日程：7月30日(火)～8月4日(日)

参加者数：12人(徳島文理大学2人、神戸芸術工科大学1人、成城大学1人、広島大学1人、甲南大学1人、神戸学院大学1人、京都産業大学1人、岡山大学1人、静岡文化芸術大学1人、京都芸術大学1人、武蔵野美術大学1人)

ボランティアcivi(シヴィ)

市民の美術活動の支援と展覧会観覧者の利便を図るため、美術作品解説ボランティアを平成11年度に設置した。毎月定例会(原則第1土曜日)を開き活動を続けている。

◆登録者数：13人

◆ギャラリートーク

特別展	開催数	参加者数
谷川俊太郎 絵本★百貨展	8	151
五大浮世絵師展	10	342
高松コンテンポラリーアート・アニュアルvol.12	5	95
	計23回	計588人



◆その他の活動

開催日	活動内容
4/14	研修旅行(大原美術館)
4/21、4/28、5/5、5/12、5/19、5/26、6/2、6/9、6/16	飯川雄大作品看視
5/4、5/5、5/16、5/20、5/26、5/27、6/9、6/12、6/16、6/24	図書資料登録及び書架整理補助
5/19	石田尚志ワークショップ「フィルム(キネカリ)ワークショップ ～フィルムに直接絵を描いて不思議な映画をつくらう～」アシスタント
7/27	夏休みワークショップ「じぶんでつくる星座」アシスタント
10/6	ワークショップ「自分のゴーストを作ろう！」アシスタント
10/27	ワークショップ「ほくら”由一”ルドレン！」アシスタント
2025/1/11	研修旅行(四国村ミウゼウム)

(7) 商店街との連携

サポートショップ

高松市中央商店街等周辺店舗と連携し、周辺の活性化及び美術館来館者の増加を目指すことを目的として、平成24年度から実施している。

美術館は、店舗を利用又は訪問した方々に渡すための割引券(特別展を2割引で鑑賞可)を店舗に提供する。また、店舗の一部においては、特別展の半券又は有効期間中の定期観覧券を提示することで、商品割引等が受けられる独自特典を提供する。

令和3年度からは、各商店街組合の協力の下、加盟店舗への展覧会チラシの一斉配布を行い、高松市中央商店街との一層の連携強化に努めた。

◆展覧会チラシ、サポートショップ割引券の配布対象店舗(商店街組合加盟店)

約740店舗

◆サポートショップ加盟店舗(商店街組合非加盟店も含む)

34店舗

◆割引利用者数

延べ399人

ランチギャラリー

高松丸亀町商店街に移転オープンした「しごとプラザ」のショーウィンドーにおいて、高松丸亀町商店街組合との連携事業として、高松市美術館の新しい展示空間「ランチギャラリー」を令和3年3月13日に開設した。

展覧会名

会期

特別展「日本の巨大ロボット群像」関連特別企画『電磁車輛コトディーン』の世界

4月20日(土)～6月16日(日)

飯川雄大「デコレータークラブショップ」

6月18日(火)～7月21日(日)

特別展「谷川俊太郎 絵本★百貨展」関連展示

7月22日(月)～9月16日(月・祝)

千葉尚実展「ショーウィンドウのゴースト」

9月18日(水)～10月27日(日)

「松井えり菜 アイラブ由一展」

10月29日(火)～1月26日(日)

令和5年度 高松市文化奨励賞受賞作家展

1月28日(火)～4月13日(日)

「高松明日香 光の返照」



『電磁車輛コトディーン』の世界



飯川雄大
「デコレータークラブショップ」



谷川俊太郎 絵本★百貨展



千葉尚実展
「ショーウィンドウのゴースト」



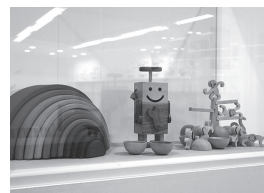
松井えり菜 アイラブ由一展



高松明日香 光の返照

讃岐おもちゃ美術館との連携

高松丸亀町商店街の「丸亀町くるりん駐車場」の1階に2022年4月にオープンした「讃岐おもちゃ美術館」との連携事業として、「讃岐おもちゃ美術館」の玩具を中2階で紹介展示するほか、相互のイベントチラシ等を各館内に配架した。



(1) その他の印刷物

◆年間スケジュール

発行：2024年3月



(2) ホームページ・SNS

高松市美術館ホームページは、当館の活動について利用者に分かりやすく情報を伝える媒体である。また、ホームページ以外にも、昨今のインターネットの利用形態の変化に対応するため「ソーシャルネットワークサービス(SNS)」等インターネット上の各種ウェブサービスの利用を行い、展覧会や関連イベントの情報など、高松市美術館とその活動を広く伝えられるように日々情報発信している。

◆ホームページ

URL：<https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/museum/takamatsu/>
アクセス件数：170,257件

◆Facebook(@takamatsuartmuseum) 2019年4月1日開設

年間投稿件数：330件
フォロワー数：1,361人

◆Instagram(@takamatsuartmuseum) 2019年4月1日開設

年間投稿件数：252件
フォロワー数：6,569人

◆X(旧Twitter) (@takamatsu_art_m) 2020年7月24日開設

年間投稿件数：473件
フォロワー数：2,452人

◆YouTube (@takamatsu_art_m) 2020年5月28日開設

年間投稿件数：20件
フォロワー数：649人

原久子

◆執筆

「りんかくのありか」(49頁)『高松コンテンポラリーアート・アニヴァーサリー vol.12 わたしのりんかく』(2025年3月)

◆その他

アートアドバイザー講座(p.33)

牧野裕二

◆執筆

「私のイチオシコレクション 高松市美術館〔奈良美智、藤本由紀夫作品紹介〕」朝日新聞夕刊及び朝日新聞デジタル(2024年10月1日)

◆その他

香川県博物館登録審査学識経験者(実地調査2024年11月20日)

高松短期大学前期講義「芸術文化」非常勤講師

石田智子

◆その他

ワークショップファシリテーター「旅する学芸員と指人形一座」(青森県立美術館、2024年7月13日)

関西大学文学部 講義「知へのパスポートb (芸術学美術史専修)」ゲスト講師(2025年1月9日)

口頭発表「誰もが楽しめる美術館を目指してー高松市美術館におけるユニバーサルミュージアムの取組みについて」(四国美術館会議、2024年10月24日)

橋 美貴

◆執筆

「私の輪郭」(50-53頁)、「関連イベント」(48頁)、『高松コンテンポラリーアート・アニヴァーサリー vol.12 わたしのりんかく』(2025年3月)

「衝動と想像ー作品と鑑賞者の関係からみる飯川雄大「デコレータークラブ」」(artscape) (WEB) (2024年7月19日)

「高松アーティスト・イン・レジデンスー1年生担当者の視点から」(artscape) (WEB) (2024年10月8日)

「曖昧な私を見つめた先にー「高松コンテンポラリーアート・アニヴァーサリー vol.12 わたしのりんかく」」(artscape) (WEB) (2025年2月12日)

◆その他

オープニングトーク登壇(Juno Mizobuchi 「Walking birds, feeling like Monomiyusan | 散歩する鳥は、物見遊山な気分」) 2024年4月26日)

高松短期大学前期講義「芸術文化」非常勤講師

高見翔子

◆執筆

論考「パフォーマンスによる創作の転換と拡張ー石田尚志の共同パフォーマンスを中心に」(240-254頁)、章解説「vi. 壁を離れて」(214頁)、作品解説「064. REFLECTION」(98頁)、「072. 透過光絵巻」(140頁)、「079. 青い小さな家」(150頁)、「065. 夏の絵」(224頁)、「066. 浜の絵」(226頁)、(共編)「略歴・主要文献」(280-312頁)『石田尚志 絵と窓の間』図録(2024年8月8日)

毛利直子

◆その他

高松短期大学前期講義「芸術文化」非常勤講師

第13回うどん県書道パフォーマンス大会演劇審査委員

第49回全国高等学校総合文化祭演技部門ブレ大会審査員

詩と絵が出会う詩集絵本「いっしょ」選考委員

高知県立美術館資料収集審査会委員

福田千恵

◆その他

ワークショップ「旅する学芸員と指人形一座」ファシリテーター (青森県立美術館、2024年7月13日)

高松短期大学前期講義「芸術文化」非常勤講師

坂東美穂

◆その他

高松短期大学前期講義「芸術文化」非常勤講師

井上奈緒

◆編集

「略歴・主要文献」(280-312頁)『石田尚志 絵と窓の間』図録(2024年8月8日)

橋本武生

◆その他

高松短期大学前期講義「芸術文化」非常勤講師

(1) 主催事業

			特別展				
			巨大 ロボット展	谷川俊太郎展	五大 浮世絵師展	アニユアル vol.12展	計
有料	通常	一般	8,016	6,849	11,829	1,352	28,046
		大学生	217	413	226	196	1,052
	割引	一般	360	617	892	100	1,969
		大学生	121	136	171	55	483
	前売	一般	344	344	1,103		1,791
		大学生	4	5	10		19
	共通定期観覧券		375	434	834	306	1,949
小計		9,437	8,798	15,065	2,009	35,309	
無料	高校生		534	229	484	179	1,426
	中学生		261	300	351	48	960
	小学生		788	1,589	1,092	117	3,586
	就学前		358	1,914	140	54	2,466
	小計		1,941	4,032	2,067	398	8,438
免除	大学生 他		164	63	68	8	303
	引率者		37	21	70	10	138
	障がい者介添人		836	547	891	142	2,416
	行政視察			2	28	4	34
小計		1,037	633	1,057	164	2,891	
招待券等		404	2,156	763	470	3,793	
観覧者総数		12,819	15,619	18,952	3,041	50,431	
1日当たり入場者数		256	300	379	80	265	
夜間(火～土曜日の17時～19時)		275	261	308	69	913	

			常設展				
			第1期	第2期	第3期	第4期	計
有料	通常	一般	1,345	1,348	1,228	1,868	5,789
		大学生	68	167	87	200	522
	割引	一般	41	41	32	65	179
		大学生	4	2	1	8	15
	共通定期観覧券		220	257	354	328	1,159
小計		1,678	1,815	1,702	2,469	7,664	
無料	高校生		278	141	230	178	827
	中学生		117	155	262	116	650
	小学生		592	983	1,315	286	3,176
	就学前		122	590	111	54	877
	小計		1,109	1,869	1,918	634	5,530
免除	大学生 他		161	46	63	1	271
	引率者		42	22	66	11	141
	長寿		593	420	630	1,004	2,647
	障がい者介添人		290	235	300	152	977
	行政視察			1	31	11	43
小計		1,086	724	1,090	1,179	4,079	
招待券等		4,582	5,468	6,904	1,718	18,672	
観覧者総数		8,455	9,876	11,614	6,000	35,945	
1日当たり入場者数		106	145	157	86	123	
夜間(火～土曜日の17時～19時)		158	189	344	165	856	

図書コーナー													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入室者数	556	658	662	746	1,748	894	885	910	621	856	1,036	785	10,357
開室日数	25	27	26	26	27	25	27	26	24	24	24	26	307

こども+													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入室者数	220	330	192	738	1,781	595	444	400	791	742	285	574	4,196
開室日数	25	27	26	26	27	25	27	26	24	24	24	26	194

(2) 貸館

一般・企画展示室			
展覧会名	会期	日数	入場者数
第50回記念高松市民美術展	4/2~4/7	6	1,267
独立美術四国会展	7/2~7/7	6	642
第16回一榮会書展	7/5~7/7	3	681
第65回記念墨華書道展	9/21~9/23	3	2,011
第51回毎日書道学会展	10/4~10/6	3	733
第51回四国書道展	12/13~12/15	3	809
COCOKARA JAPAN ART2024 Vol.5	12/20~12/22	3	487
第31回由源香川書展	1/4~1/5	2	2,182
令和6年度高松市教育文化祭展覧会	1/10~1/12	3	5,476
令和6年度第20回香川県小・中学校総合文化祭 展覧会	1/10~1/12	3	5,519
第49回全国高等学校総合文化祭展覧会美術・工芸部門 プレ大会	1/16~1/19	4	721
第49回全国高等学校総合文化祭書道部門 プレ大会	1/16~1/19	4	610
第24回讀友書展、島田三光書作の軌跡展	1/24~1/26	3	950
第14回青澄かな書作展	3/22~3/23	2	1,471
菁華書作展(講堂)	3/22~3/23	2	1,326
第55回青龍書展	3/28~3/30	3	1,042
計16展		53	25,927

市民ギャラリー			
展覧会名	会期	日数	入場者数
第11回グループPearl展	4/2~4/7	6	578
第20回高松絵画美学展	4/18~4/21	4	632
四国霊場八十八カ所曼荼羅の旅 +展	4/26~4/29 5/3~5/4	4 2	599 509
星野文昭・曉子 絵と詩展	5/9~5/12	4	243
第3回香川県日本画家小品展	5/24~5/26	3	452
集 - tudoi - 展2024	6/4~6/9	6	798
第50回チャールズ会高松展	6/11~6/16	6	695
第36回美術教室DODO作品展	6/25~6/30	6	636
樋笠幸三、高橋章 二人展	7/2~7/7	6	651
尾藤正樹とアイビー絵画教室作品展2024	7/17~7/21	5	290
第7回友墨会展	8/7~8/11	5	540
第9期フォトアーキベラゴ写真学校修了作品展	8/18~8/25	7	778
第50回文化書道四国連合会書道展	8/31~9/1	2	497
ソバハニコレクション 夜長月展	9/14~9/22	8	756
第13回グループ尚作品展	10/1~10/6	6	491
グループひかり絵画展	10/10~10/14	5	354
第6回日本画家と市民の交流展	10/16~10/20	5	568
新協美術会香川支部 第21回近作展	10/22~10/27	6	741
第30回サロン・エウスン絵画展	10/29~11/4	7	1,220
美しい翼'24作品展	11/6~11/10	5	788
第18回鷹松日本画研究会作品展	11/14~11/17	4	555
フクロウ絵画展	11/19~11/24	6	856
第5回「一期一絵」	11/26~12/1	6	1,029
パッチワークキルト展	12/3~12/8	6	580
香川県立高松工芸高等学校 冬の美術科作品展	12/10~12/15	6	599
創立85周年 ファッションコラボレーション展	12/19~12/22	4	620
オニノプロジェクト「私たちの『距離感』」	1/10~1/12	3	1,312
2025木犀書展	1/17~1/19	3	475
創元会香川支部展	1/21~1/26	6	642
第20回讀岐入木会展	1/31~2/2	3	617
高松アーティスト・イン・レジデンス2024 西村涼 水の脈をとどめる	2/4~2/9	6	421
第14回英明高等学校 美術デザイン系展	2/11~2/16	6	903
香川大学創造工学部造形メディアデザインコース 卒業修士研究制作展	2/21~2/24	4	656
大河ドラマ「べらぼう〜蔦屋栄華乃夢嘶〜」全国巡回展	3/25~3/30	6	2,453
計35展		177	24,534

(2) 貸館(つづき)

講堂													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数	20	30	270	140	195	794	258	260	75	80	100	190	2,412
利用回数	1	1	2	3	4	7	4	4	2	2	1	3	34

講座室													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数	472	465	475	519	322	607	575	596	537	537	673	516	6,294
利用回数	34	31	35	34	21	43	41	43	39	38	47	41	447

